KSGA

KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION

●烏山城カントリークラブ　三の丸1番ホール

Vol.30

KSGA KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION

vol 30

CONTENTS

② 巻頭言　フレンドリーマッチの奨め
関東学生ゴルフ連盟会長　松本富夫

③ 委員長あいさつ
関東学生ゴルフ連盟委員長 成蹊大学 佐藤博行

④⑤ 平成8年度関東学生ゴルフ連盟・各地区連盟役員紹介

⑥⑦ 連載　学生GOLF、あの日、あの時
戦後の全日本学生選手権
関東学生ゴルフ連盟専務理事 福島靖

⑧ 随想　ゴルフルールで学ぶ
関東学生ゴルフ連盟理事 嶋田憲人

⑨〜⑪ 理事会報告・全日会議報告
第5回常任理事会議事録
第6回常任理事会議事録
全日会議議事録　　千葉経済大学 髙谷晶

⑫⑬ 平成8年度全日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟主催競技日程(男子・女子)

⑭ dear My Club　我がゴルフ部
大妻女子大学 東京国際大学

⑮⑯ 総評 文部大臣杯第24回全日本学生ゴルフ王座決定戦
日本大学 神戸淳

⑰⑱ RESULT 文部大臣杯第24回全日本学生ゴルフ王座決定戦

⑲ 総評 第43回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権
中央大学 戸谷鉄太郎

⑳㉑ RESULT 第43回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権

㉖ 総評 第41回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権
東京農業大学 黒田周太郎

㉗ RESULT 第41回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権

㉘ 総評 第33回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦
慶應義塾大学 髙橋竜太

㉙ RESULT 第33回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦

㉚ 総評 第31回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦
東京農業大学 黒田周太郎

㉛ RESULT 第31回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦

㉜ 総評 第14回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権
東京農業大学 黒田周太郎

㉝㉞ RESULT 第14回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権

㉟ 総評 平成7年度関東大学対抗男子秋季ブロック入替戦
東京国際大学 会津周

㊱〜㊳ RESULT 平成7年度関東大学対抗男子秋季ブロック入替戦

㊴ 総評 平成7年度関東大学女子秋季ブロック入替戦
中央学院大学 飯泉貴幸

㊵㊶ RESULT 平成7年度関東大学女子秋季ブロック入替戦

㊷ 平成7年度 関東学生ゴルフ連盟男子11月月例会
㊸ 〃 関東学生ゴルフ連盟女子11月月例会

㊹ 編集後記

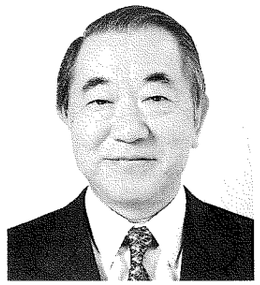
表紙写真：烏山城カントリークラブ(栃木県那須郡烏山町)

雄大な景観の中に広がる27ホールズ。
距離がたっぷりあるうえに、池、クリーク、谷などが戦略性豊に配されており、難易度の高いコースとなっている。
毎年、信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権、朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権が開催される。

巻頭言

フレンドリーマッチの奨め

for
KANTO STUDENTS
GOLF ASSOCIATION



関東学生ゴルフ連盟会長
松本　富夫

冬来たりなば春遠からじ、といわれていますが、本誌が刊行される頃は、恐らく春真っ盛り。桜の花の見頃になっていることでしょう。芝が青くなれば諸君の季節です。今年も存分に白球を打ち、青春の、いい思い出を作ろうではありませんか。

ところで、私は先の常任理事会で「フレンドリーマッチ」をおやりなさいと提唱しました。目的は単に大学間の親善を深めるのみではなく、実戦を体験し、技術を研鑽し、人格の向上などに狙いを置いてもらいたいのです。

この種のフレンドリーマッチに端を発し、国際的な大きなゲームとして発展した例は、世界には枚挙にいとなまないのです。

ゴルフではライダーカップがあり、ウォーカーカップもそうといえます。テニスでは世界的に有名なデビスカップがあります。

最近はあまり話題にならなくなりましたが、かつては２チーム間の競技が定期的に行われ、これを定期戦といいました。もとをただせばフレンドリーマッチのことで、たとえば阪神タイガースと阪急ブレーブス（いまはオリックス）定期戦。日・立・明三大学の水上対抗戦。あるいはアメリカンフットボールの定期戦もありました。種目は野球、ラグビー、水泳など多岐にわたっていて、どれもが多くのスポーツ愛好家の注目を集めたものです。

しかし、昨今はビッグイベントが多くなった半面、定期戦のような、いわば手作りの競技大会が消えてしまいました。大半の競技者は中央の大会のみに目を向けるようになったせいもありましょう。一心不乱にチャンピオンシップを目指すことはもちろん大切なことであり、一方、競技団体は普及発展のために競技会の開催に力を注ぎます。

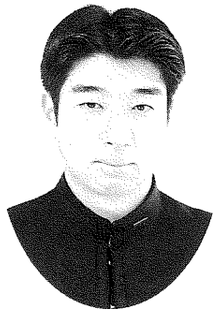
だが、全員がチャンピオンシップを狙えるレベルにあるかどうかを考えてみると、必ずしもそうではないと私は思います。そうなると全国レベルに達していないチームや個人は、置き去りになってしまい、競技団体としては責任を感じます。

そこで私は地域ごとに数校の大学が集まり、定期的にフレンドリーマッチを開催して技術の研鑽を積んではいかがなものかと考えてみたのです。

現在、関東連盟の加盟校は、力量に応じてブロックで区分けされています。上からＡＢＣ…となっていますが、まずは同レベル校同士でマッチを行い、次なる段階で上のクラスに挑戦してみるのもいいでしょう。競技方法によっては日頃、競技会に出られる機会のないプレーヤーにも、出場のチャンスが巡ってくるかもしれません。同一地域同士の対戦なら交通費などの経費も多少安くてすみそうです。

要は一人でも多くの学生ゴルファーの皆さんに正式な競技のやり方を体験してもらいたいのです。身をもって緊張感、責任の重さを知ることが意義のあることです。情報の交換もいいことです。さあ、勇気をもってスタートを切ってみませんか。

委員長あいさつ



関東学生ゴルフ連盟委員長
成蹊大学　佐藤博行

平成８年度関東学生ゴルフ連盟委員長に就任することになりました。成蹊大学の佐藤博行と申します。１年間という短い任期ではありますが、新役員共々学生ゴルフ界の発展のために精一杯の努力をしてまいりますので皆さんのご協力をお願いいたします。

私が学生連盟に入った時、連盟委員と各大学の主将との関係がうまくいっていないと感じました。ですから、私が委員長となった今、この関係を改善するのが、私の第一の任務と考えております。

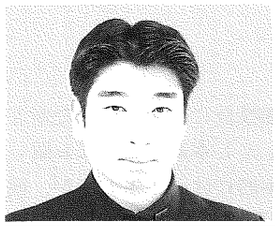
それには、毎月の主将主務会議に重点を置き、なるべく各大学の主将・主務とのコミュニケーションを取れるよう努力してまいりたいと思っております。しかし、この会議は不必要との声を最近聞きます。非常に残念なことですが、これも我々が変えなければいけない意識と認識しております。主将・主務会議は、我々連盟委員の考えを伝えるだけでなく、皆さんの考えを我々に伝える場でもあり、また、各大学同士の交流の場でもあるのです。我々も皆さんからの声が聞けなければ、学生連盟を変えることもできませんし、それは学生が学生のために運営するという本来の趣旨からもはずれたものとなってしまいます。このような事態を避けるためにも、ぜひ皆さんにも積極的に意見を我々にお伝えください。直接ではなくとも、各大学の連盟委員を通して伝えてくださっても結構ですから。

次に連盟委員について私なりの考えを皆さんにお伝えします。皆さんは連盟委員というものを少し勘違いをしていませんか？例えば、部の練習に出られなくなるとか、授業に出られなくなるとか、そういったイメージがあるかと思われますが、それは間違いです。確かに４年の幹部役員にはそういった面もあることは否めません。しかし本来皆さんにお願いしている各大学１名、基本的には三年生ですが、彼らには、そんなに大変な仕事はありません。月１～２回の事務所当番と、何回か競技会に行ってもらう程度です。そんな状況では決してゴルフが出来ないということにはなりませんし、実際連盟委員の中にも上位ブロックにレギュラーの座を確保している者もおります。また連盟委員というのは、非常に大事な役職であります。皆さんも事務所が機能しないと困ると思いませんか？我々幹部役員も目が完璧には行き届きません。ですから部の主将・主務の方々も自分の部の連盟委員に自覚を持たせるよう努力していただきたいのです。私も連盟委員がいればこその委員長でありますし、連盟委員がいなければ何もできません。そのような皆さんの努力があってこそ私も皆さんによりよい競技運営を提供できるものと思っております。そのためにも私は学生連盟の組織というものを再考してみたいと思います。私は今の連盟の組織力では、皆さんによりよいものが提供できないと思います。何よりもまず、基盤固めが一番大切であります。その仕事は地味で、皆さんには分かりにくいものかと思いますが、後々学生ゴルフ界発展に大きく貢献するものと信じております。

学生ゴルフ界はマナーが最重要視されていますが、上位ブロックを中心にマナー意識の低下が見うけられます。我々は、サークルではありません。体育会として真剣にゴルフに取り組むことが大前提でありますし、周囲の人々もそう見ます。何事も１人だけでは何もできません。ゴルフにしてもゴルフ場関係者のご協力なくしては成り立ちません。そういった意識を加盟員の一人ひとりが持てば、今まで以上に学生ゴルフ界というものが認められるでしょう。

以上、少々愚痴が入ったかもしれませんが、これが現状だと皆さん認識してください。私も皆さんの支え、協力が無ければ委員長という職務はまっとうできません。一年間という短い期間ではございますが、私も全力でやって行きますので何卒皆さんのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成８年度関東学生ゴルフ連盟役員紹介



委員長

佐藤 博行(成蹊大学)

私が噂のカレオツです。学生ゴルフ界のおはようからおやすみまでを見つめるのが仕事です。

副委員長兼総務局長

神戸 淳(日本大学)

学連、部、大学を均等に活動して行こうと思います。

副委員長兼企画事業局長

中村 裕(帝京大学)

俺のは太くて長いんだぜ。え、もちろんまゆ毛だよ。

副委員長兼コース選定委員長

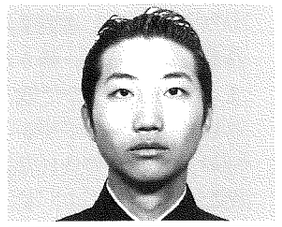
戸谷 鉄太郎(中央大学)

俺なりにがんばる。でも、ミスったらごめんね。

競技委員長

髙橋 竜太(慶應義塾大学)

ルールが変わります。みんなルールの勉強をしよう！



副競技委員長

本郷 聡(獨協大学)

僕の目標はR・クーマンのような選手になることです。

副競技委員長

飯泉 貴幸(中央学院大学)

元気はつらつガッツだぜ!!

事務局長

髙谷 晶(千葉経済大学)

今年一年、自分の限界をちょっと越えることに挑戦し続けたいと思います。

事務局次長

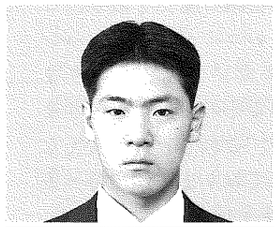
三谷 珠代(清泉女子大学)

仕事の鬼、高谷君が私のボスです。

事務局次長

林 由佳(昭和女子大学)

人生のうちのわずかの時間を無駄にしません。



会計局長

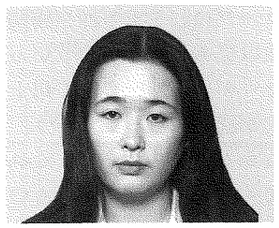
会津 周(東京国際大学)

ゴルフのことではなく、全日本の会計のことを聞いてください。

会計局次長

中島 波(大妻女子大学)

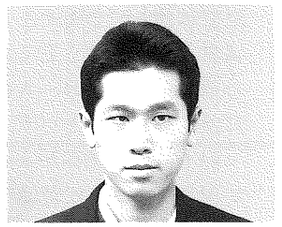
会津さんについて行きます。



会計局次長

高林 みどり(東京農業大学)

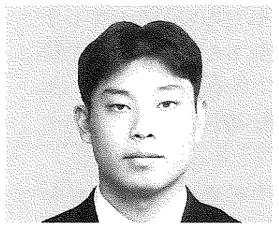
“マイペースで頑張ります。”
よろしくお願いします。



広報局長

十時 良明(駒澤大学)

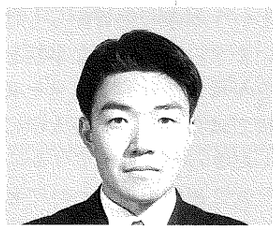
お金がない!!



広報局次長

小林 孝之(駒澤大学)

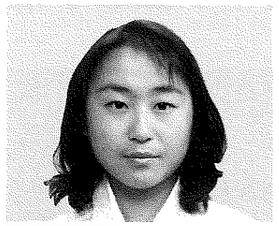
局長の暴走をストップ!!



広報局次長

井口 剛伸(國學院大学)

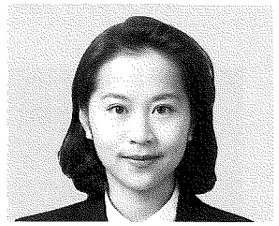
誰にも怯えず、マイペースでいけるかな。



企画事業局次長

山田 亜希子(東洋英和女学院大学)

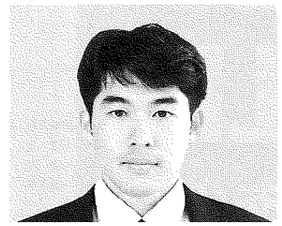
今年も元気に頑張りましょう。



企画事業局次長

中澤 多恵子(上智大学)

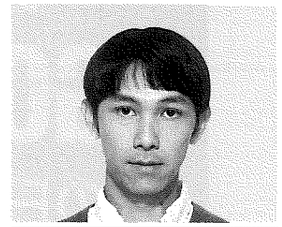
よろしくお願いします。



渉外局長

山口 弘晃(亜細亜大学)

アルバイト担当。この顔みたら声かけて。



渉外局次長

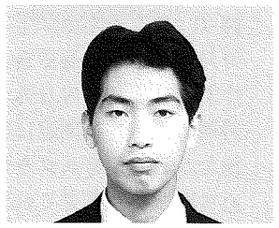
栗原 大輔(関東学院大学)

山口君の助けをできるようガンバります。

渉外局次長

古畑 貴志(山梨学院大学)

一年間よろしくお願いします。



総務局次長兼OB係

黒田 周太郎(東京農業大学)

一生懸命がんばりますので、よろしくお願いいたします。

総務局次長

伊東 真木(フェリス女学院大学)

よろしくお願いします。

●**事務局員** 小林 恵理（白百合女子大学）
小野 文子（跡見学園女子大学）

●**広報局員** 白井 秀典（神奈川大学）
西澤 尚子（共立女子大学）
岡沢 まどか（聖心女子大学）
清水 普弥（立正大学）

●**渉外局員** 沢田 貴夫（明治大学）
須藤 広昭（成城大学）

●**総務局員** 大熊 聡子（日本女子大学）

●**日米担当** 高橋 知徳（早稲田大学）
伊藤 正昭（日本工業大学）

●**月例担当** 根岸 宏考（専修大学）
熊沢 孝保（青山学院大学）

●**司 会** 後関 亮作（学習院大学）

●**連盟委員** 平岩 加奈子（東京家政大学）
伊丹 宏美（東京家政学院大学）
清水 智敦（大東文化大学）

平成８年度各地区連盟役員紹介

●北海道学生ゴルフ連盟
委 員 長 萩野 拓也（北海学園大学）
副委員長兼競技委員長 原田 靖久（札幌学院大学）
副委員長兼事務局長 木村 勉（小樽商科大学）

●中部学生ゴルフ連盟
委 員 長 脇田 峰輝（名古屋学院大学）
副委員長兼書記長 加藤 利典（南山大学）
副 委 員 長 加藤 誠（名古屋大学）
競技委員長 木下 祐樹（名古屋学院大学）

●関西学生ゴルフ連盟
委 員 長 森 晋吾（龍谷大学）
副 委 員 長 清水 重憲（近畿大学）
多田 全範（関西学院大学）
競技委員長 木村 有三（同志社大学）

●中四国学生ゴルフ連盟
委 員 長 河田 晃典（広島大学）
副委員長兼競技委員長 阿南 卓（広島工業大学）
副委員長兼渉外局長 石井 啓之（広島工業大学）

●九州学生ゴルフ連盟
委 員 長 塩田 真也（第一経済大学）
副 委 員 長 池田 明弘（第一経済大学）
競技委員長 廣戸 慎太郎（福岡大学）

連載

学生 GOLF あの日あの時 ⑤

関東学生ゴルフ連盟専務理事　福島 靖

戦後の全日本学生選手権

「もはや戦後という言葉はない」といわれて久しい。しかし、軍国主義から民主主義への切り返しを体験した日本人にとっては、この“戦後”という言葉は忘れようとしても忘れられない。世相が180度転換したのだから当然で、大きな意義があるから一般社会で当分使われそうな言葉である。

さて、太平洋戦争のために中断されていた学生ゴルフの戦後の復活は、昭和26年から同28年にかけてだ。この頃、ほぼ同時にクラブを振り始めた関東と関西の学生たちの間で、それぞれが組織を作って競技会を開こうという機運が高まった。そこで一足先に関西の学生連盟が発足し、やがて関東の連盟が誕生した。それから全日本の選手権の開催という経過をたどっている。

この間、大会の開催に漕ぎつけるまでには順風満帆にことが運んだわけではなく、当時の世話役の東西の学生たちは、乏しい財源の中から経費を工面しつつ手弁当で動き回った。ゴルフ場が米軍に接収されていたり、コースの絶対数が少なかったので会場探しも容易ではなかった。おまけに用具も不足していた。

だが、それよりも学生たちにとって辛かったのは、今日のようにゴルフが理解されていなかった点であろう。復興期から学生たちは大きなハンディを背負ったが、これは社会情勢からみて仕方のないことであった。

◇

昭和27～28年頃の生活環境は、やや安定方向に向かっていたものの食料難、施設の不足が尾を引き、学生スポーツ全体に対する世間の目は今日ほど寛大ではなかった。結局それなりに周囲の力を借りなくては事は円滑には運ばなかった。

こうした環境下の学生ゴルフに大きな理解を示してくれたのは、関西では成宮喜兵衛さん（元日本アマチャンピオン）であり、関東では朝日新聞社（元副社長の石井光次郎さんや元専務取締役・信夫くしのぶ〉韓一郎さんほか企画部）だった。

成宮さんはホームコースの京都ゴルフ倶楽部（昭和23年開場）を、学生が利用しやすいように便宜を図り、自らが関西学生連盟の組織作り（昭和26年7月発足）を支援して会長に就任するなど、その基礎作りにはなみなみならぬ情熱を傾けた。

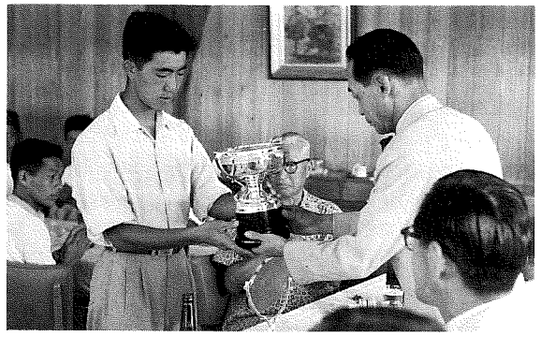
一方、朝日新聞社は関東の組織作りの指南役を担った。社内のデスクを学生の事務局として使用を認める温情を示してくれた。この甲斐あって関東の組織は昭和28年7月に、早、慶、明、上智、学習院、立教の各大学が中心になってできあがった。

さらに朝日新聞社は全日本学生選手権を開催すべく、関係各方面に奔走して、その年の11月、兵庫県の広野ゴルフ倶楽部で開催できるお膳立てを整えてくれた。

全日本学生選手権が開催されるには、構図の上からというと全国を統括できる組織がなければならない。しかし、戦争によって消滅的な痛手を被った学生ゴルフはその時期、全国組織を結成できる力はなかった。そのためにとりあえず関東と関西の学生連盟の共催という形をとったのである。

◇

大会は昭和28年11月17日～18日の2日間、72ホールストロークプレーで優勝が争われた。関西から29人の学生ゴルファーが参加し、慶應の松本富夫（現関東学生連盟会長）が優勝した（写真）。実弟の昭男（慶應）が2位になった。松本のスコアは347（86・89・88・84）。アベレージゴルファーのスコアであるが、それでも参加した学生たちは戦後の復活を告げる大会が開かれたことに感動し「未熟ではありますが、悔いなき戦績をおさめ、学生ゴルフ史に感激の一ページを記した。復活学生ゴルフ競技を担う一同として、来賓各位より戴いた愛情溢れる激励の言葉を力強く肝に銘じ、永く学生ゴルフ競技者に伝えたいと思う」と東西で共同声明を発表した。

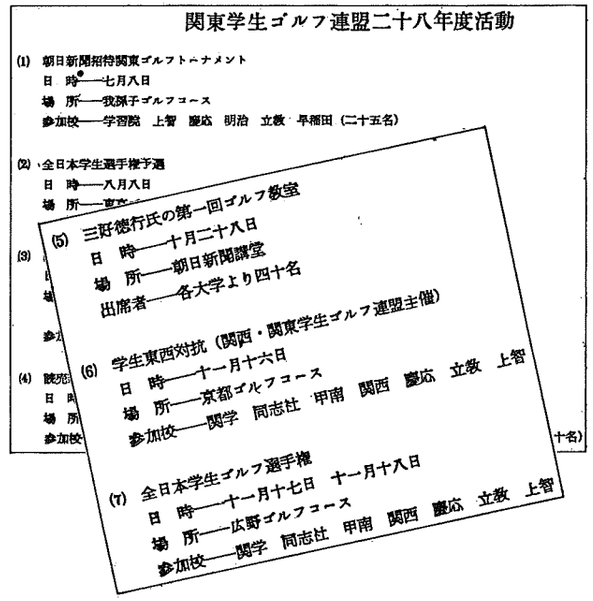


翌29年の大会は7月27日～29日の3日間、我孫子ゴルフ倶楽部での開催になり、第1回大会とは競技方法が変わった。36ホールストロークプレーの予選で8人を選抜してマッチプレーで優勝が争われた。理由は日本アマ選手権を範とし、やがては学生界から日本チャンピオンを送り出したいという願いを込めてのことであった。

この年も前年のチャンピオン松本富夫が関西の土井直治（関学）を8エンド7の大差をつけて優勝し、学生界におけるゆるぎなき地位を確立した。また予選において160打でメダリストの栄冠を手中にしているが、この数字は当時のアマチュアのトップクラスと遜色のないできばえと注目された。

こんな経過を辿りながら学生ゴルフは年々隆盛を極めつつ、力をつけていった。そこで終戦直後から世の中が落ち着き始めた頃、いち早く学生ゴルフの復興に手を貸してくれた戦前からの名ゴルファー成宮喜兵衛の存在と、朝日新聞社のアマチュアスポーツを愛する精神の二つは、学生ゴルフ史の上では永遠に語り継がれなければなるまい。

註・昭和28年にもう一つの全日本学生選手権が東京ゴルフ倶楽部（8月31日～9月1日）で開かれたが、この大会は読売新聞社の主催で一回限りしか行われなかった。また今日の日本学生選手権の優勝カップには昭和28年の勝者の名前が欠落している。


関東学生ゴルフ連盟二十八年度活動

(1) 朝日新聞招待関東ゴルフトーナメント
日　時――七月八日
場　所――我孫子ゴルフコース
参加校――学習院　上智　慶応　明治　立教　早稲田（二十五名）

(2) 全日本学生選手権予選
日　時――八月八日
場　所――

(3)

(4) 読売
日
場　所
参加校　　十名）

(5) 三好徳行氏の第一回ゴルフ教室
日　時――十月二十八日
場　所――朝日新聞講堂
出席者――各大学より四十名

(6) 学生東西対抗（関西・関東学生ゴルフ連盟主催）
日　時――十一月十六日
場　所――京都ゴルフコース
参加校――関学　同志社　甲南　関西　慶応　立教　上智

(7) 全日本学生ゴルフ選手権
日　時――十一月十七日　十一月十八日
場　所――広野ゴルフコース
参加校――関学　同志社　甲南　関西　慶応　立教　上智

◇昭和28年の全日本学生選手権成績

①松本　富夫（慶大）　347
②松本　昭男（慶大）　349
③森本　文三（関学）　361
④中部一次郎（慶大）　364
⑤本田　　光（慶大）　366
⑥野村　健二（慶大）　368
⑦土井　直治（関学）　377
⑦塚本　楊三（関学）　377
⑨石本　幸久（甲南）　378
⑩富田　静昭（同大）　383

◇昭和29年の全日本学生選手権成績

▽準決勝
松本富夫（慶大）　2up　石本喜義（甲南）
土井直治（関学）　5－3　林　洋一（慶大）
▽決勝
松本富夫（慶大）　8－7　土井直治（関学）

随想

ゴルフルールで学ぶ

関東学生ゴルフ連盟理事
嶋田　憲人（かずひと）

1744年に13ケ条のルールが制定され、最初の「ルール」といわれておりますが、ゴルフの存在は1457年の時の王様「ジームスⅡ世」の「ゴルフ禁止令」によって確認されております。

今日までの約600年でコース、ボール、クラブは大きく発展飛躍し、ゴルファーは増加、ゴルフコースの組織（倶楽部）も多種多様となり、ルールも時代に対応し４年に一度改定、見直しされる時代となりました。

ゴルフのルールは性善説といわれますが、この根底にあるものは当時の競技方法、マッチプレーがゴルフのルーツであったためともいわれております。

マッチプレーの精神は即ち、礼節、対戦相手への思いやりであり、欧米では騎士道(ナイト)、我国では武士道のようなものがあります。そして、プレーヤー同士の信頼関係が確立されており、これが後世に「紳士のスポーツ」と評価された一因ともいわれております。

エチケット・マナーを守らない人や、対戦相手・コース・自然に「思いやり＝誠実さ」を持たない人は、ともにラウンドする人を失うといった考え方がルールのポリシーであります。また、ペナルティーは加罰することが意義ではなく、潤滑なプレーのためであり、次のストロークを速やかに行うためのものでもあります。

今日、殆どの競技が大勢の人が参加できるストロークプレーでありますが、ゴルフの「真髄」と申しますか、精神はマッチプレーによって学び、啓蒙されております。

数年前、全英オープン（セントアンドリュース）見学にて英国訪問の際、ワールドマッチプレー会場の「ウエントワース」と、全英オープン会場となった「ターンベリー」をラウンドしました。この時、ゴルフのルーツはマッチプレーと更に深く感じました。

普段、我々がラウンドするコースは、あまりにも大勢の人がプレーできるように、人工的な造作が加えられ、いわば「温室」の中でゴルフを覚えてきたと感じました。

100年を越える昔に今日のようなボール、クラブを予測せず設計されたコースは、対戦相手と自然との戦い、そして自己葛藤を求めたものでありました。

ストロークプレーの妙味もありますが、マッチプレーの妙味を皆様に知っていただき、ゴルフライフをエンジョイしていただきたいと存じます。

昨今では「プレーヤーは増加したが、ゴルファーが減った」といわれますが、マナー・エチケットの保有や同伴プレーヤーへの配慮は、ゴルファーならば「当たり前」のことであり、特別に誇張すべきものではありません。

このことは、マナー・エチケットを順守する人がゴルファーとなる資格を有すことであり、それはゴルファーにとって当然理解、行動しなければならないことでもあります。

プレーヤーのように「他人と同じ行為で迷惑をかけなければ良い」とマナー・エチケットを理解し、「マッチプレーの精神」を理解できていない人はゴルファーとして認められない人であります。

連盟加盟校の皆さんは勉学、ゴルフと日々研鑽を重ね、人間的に成長しようと努力していると存じますが、ゴルファーとなる努力もしていただきたいと存じます。

コースにでれば先輩、恩師、後輩、社会的地位の高い方も一人のゴルファーです。ゴルファーとして行動すれば多くの人と友人になれると思います。

数年前に全日本学生ゴルフ連盟の近衛道隆会長が、関東学生ゴルフ連盟総会の挨拶の中で「学生ゴルフの目的は競技に参加、勝利することも大切であるがゴルフを通じ自己研鑽し、良き友人を作ることである」と述べられたことに感銘を受けました。

それから数年して早朝、車内ラジオで天気予報前の宗教の時間で「友を得るには相手に取って良き友となる努力をしなければならない」との放送がありました。とかく今日は反対給付を求めたり、借り貸し追求のせちがらい時代かもしれませんが、ゴルファーとなる努力をして、良き友人を得て欲しいと思います。

連盟競技規約の中に該当者、主将、加盟校部長または監督、責任者連署による始末書の提出という厳しい規定があります。これはゴルファーとしての行動ができなかった人への戒めとして作られたものです。コースでプレーするにはルールも大切ですが、マナー・エチケットを順守できない人は、プレーする資格が無いとのことから制定されました。

数百年前はホールアウトしたカップから数クラブ以内に砂、泥でティを作り、そこからホールが始まった時代もありましたが、今日ではティグラウンドが整備され、フロント(白マーク)、バックティ(青マーク)といった具合にセパレートされてきました。

我国では「清水の舞台から降りる」といった言葉があるように舞台については、大舞台、晴れ舞台と特別な場所との考えがあります。学生競技を初め、殆どの競技は通常バックティを使用しますが、プロゴルフトーナメントの影響でバックティを使用したプレーヤーがフロントティを横断する場合が見受けられ、数年前の競技規約改訂でアゲンストマナーとして始末書提出の厳罰規定となりました。フロントティは歩経路ではなくティグラウンドであり、フロントティでプレーする人の舞台だからであります。プロゴルフトーナメントではギャラリーとの一線を期すために、やむを得ずフロントティマークを除去し通行させているのに過ぎないのであります。

このようなことは外国にも少ないマナーかもしれませんが、コースレイアウト、ラウンドするプレーヤーの人数から、ティグラウンド保護のためと歩経路の有無からは我が国ではアゲンストマナーとなることを認識願いたいと存じます。

最後に、一昨年来日したニック・プライスの言葉を加盟校の皆さんに贈ります。

「ゴルフコースでプレーすることは大切なことだが、如何に振舞うかはもっと大切」

このことは老若男女、学生、ジュニア、社会的地位の高い方もゴルフコースでは一人のゴルファーであり、人格も認められ、皆平等にゴルフを楽しめますが、ゴルファーとしての行動と社会人のマナー・エチケットが必要とのことであります。

連盟加盟校の皆さんは自己啓発のためにルールブック、ゴルフの歴史を探究していただきたいと存じます。

（筆者は日本大学ゴルフ部コーチャー）

理事会報告

平成７年度第５回常任理事会議事録

日時　平成８年１月16日（火）午前８時00分～９時30分
場所　関東学生ゴルフ連盟会議室
出席　福島専務理事、富田、竹田、高木、池田、細川各常任理事、白石事務局員
　　学生委員―佐藤委員長、矢下、山下、神戸、高谷、山口、高橋各学生委員（順不同）

議案及び決議事項の報告

第１号議題―『平成８年度新役員紹介』　平成８年度関東学生ゴルフ連盟新役員が紹介された。

第２号議題―『全日会議報告』　昨年12月17日ホテルステーションプラザにて行われた全日会議の報告が行われた。なお、下記は、全日会議議事録に準じてその内容が討議されたものである。

１．「全日会計について」　今年度会計・山下玄太より全日会計内規が報告され承認された。（会計内規については別紙参照）

２．「平成８年度全日本学生ゴルフ連盟新役員選出」　新役員の紹介が行われ承認された。（新役員については全日会議議事録参照）

３．「全日理事会について」
全日理事会の活動について全日会議で討議した結果、各学連より様々な意見が出された。（意見に関しては全日会議議事録参照）その意見を討議しこの日出席の理事からも全日理事会に対して次のような意見が出された。

・他の学連は、学生だけで活動しているというが、その活動範囲は狭く、対ＪＧＡ、対プロ協会、日本スポーツ界における学生ゴルフ団体としての存在が話し合いのなかで必要になる機会が多いが、話し合いを持って行く場所・組織がなく非常に弱いのが現状である。これらの認識は学生だけで活動している学連には無いのではないか。
やはり、レベルを上にした活動の話し合いが必要であろう。
・大人のエゴで学生を振り回すような理事会ではなく開かれた理事会の活動を目指すべきである。
・関東理事会だけでの活動では難しいのが現状である。よって、近衛会長を中心として各学連会長の会議を設け、理事・学生両方が納得のいく方向ずけを模索すべきであろう。
・学生の現場を理解していない監督・指導者が多いのも現実であり、各地区で学生を交えた会議を設けてみてはどうか。
・学生の真意を考慮せず、理事だけで行動してしまうという不信感を学生が持っており、それを解消するためにも学生と理事両者の話し合いを設けてみてはどうか。
・関東では伝統的に理事会があり学生とのコミュニケーションも旨くいっているが、他学連では旨くいっていないところもあり理事会に対しての反発も理解できる。しかし現状の全日本学生ゴルフ連盟で満足するのではなく関東も含め全日本学生の組織を考えると不十分なところが多いのが現状である。現在の全日本の組織は形はあるが実態がない。しかし、全日本の試合も運営されており、全く実態が無い訳ではない。
会計制度が先走りお金だけは集めている。組織がなく責任者もいない状況においてお金が一人歩きしている。組織を固めるためにはお金も必要であるが、人間の固まりも必要である。組織は学生だけでは不十分な面もある。社会のなかでの全日本学生連盟を考えるとやはり理事会の必要性を検討すべきである。関東の理事会も十分ではなくもう一度理事会の本質を考えるいい機会ではないかとの意見が出された。
・学生の意見をみると意図が摑めない、変化が摑めない、見返りが分からない、存在意義が分からないなど、関東は理事会との接し方を知っているが、他学連は知らないのが現状である。分からない部分を理解させるためには、学生と大人を一堂に会すべきである。大人だけで集まっても同じことの繰り返しにすぎない。
・会計面においても一人歩きしているのは切実な問題であり、早急な組織固めが必要である。
・日本ゴルフ協会や関東ゴルフ連盟、公的機関に対して、全日本学生ゴルフ連盟はどこにも属さない独立した団体であることが重要であり、独自の立場において学生ゴルファーの地位を守り、学生の負担を軽くできるような方向を目指すのが理想である。

４．「競技方法について」　本年度同様競技規定に基づいて来年度も行うことが確認された。

５．「朝日新聞社主催信夫杯について」　高谷事務局長より全日会議における朝日の信夫杯についての意見が報告され、確認された。（意見内容については全日会議議事録参照）

６．「平成８年度全日競技日程・開催地について」　高橋競技委員長より平成８年度全日競技日程・開催地について報告があった。

７．「全日競技各地区出場枠について」　高橋競技委員長より全日競技に出場できる各地区の出場枠報告がされた。

８．「TOPY CUPについて」　高橋競技委員長より大会概要が説明され来年度も本年度同様に行うことが報告された。

９．「日米大学ゴルフ選手権について」　この件は第３号議題で取り上げる。

10．「第４回日米親善ゴルフトーナメントについて」
高橋競技委員長より大会概要が説明され、来年度も本年度同様に行うことが報告された。（なお、日米親善ゴルフトーナメントは中部学連主催）

11．「その他」
１．全日競技エントリーについて　高橋競技委員長より全日会議での決定事項の報告があった。（決定事項に関しては全日会議議事録参照）
２．ルール改正について　高橋競技委員長より、ルール改正の注意点が報告され確認された。
３．女子プロテスト申し込みについて　この件は第４号議題にて取り上げる。

第３号議題―『第21回日米大学ゴルフ選手権について』
佐藤委員長より日米大学ゴルフ選手権開催日程についてもう一度検討し直すことが報告された。

第４号議題―『ＪＬＰＧＡプロテストについて』
この件に関しては、全日本学生ゴルフ連盟が対応していくことが確認された。（ＪＬＰＧＡプロテストに関しては別紙参照）

第５号議題―『規約及び競技見直し委員会報告』
高橋競技委員長より競技見直し小委員会の報告がなされ確認された。（競技見直し小委員会については別紙参照）

第６号議題―『本年度競技日程について』
高橋競技委員長より平成８年度全日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟主催競技日程が報告され承認された。

第７号議題―『平成７年度第６回常任理事会、第３回理事会、及び総会の日程について』
第６回常任理事会…２月上旬　第３回理事会…３月に入ってから　総会…４月13日

議事録作成　高谷 晶（千葉経済大学）

平成７年度第６回常任理事会議事録

日時　平成８年２月19日（月）午前７時50分～９時00分
場所　関東学生ゴルフ連盟会議室
出席　松本会長、福島専務理事、富田、高木、岡村、佐野、細川各常任理事、白石事務局員
　　学生委員―佐藤委員長、神戸、高谷、山口、高橋、中村各学生委員（順不同）

議事及び決議事項の報告

第１号議題―『第21回日米大学ゴルフ選手権の日程について』
７月１日…プロアマ戦及び学生練習ラウンド　７月２・３・４日…本戦　浜野Ｇ．Ｃにて
倉本プロのマネージャーよりプロアマ戦に出場するプロに対して学生からの協力をとの意見が出され、これに対し学生も時間の許す範囲において、プロと接触する機会を作るなどの努力をして、プロがプロアマ戦に快く参加していただけるように協力することが確認された。
プロアマ戦における学生の協力に関しては、学生はあくまで学生であるので、企業サイドとの公的な話し合いに参加する程度に止めておき、学連はあくまでプロアマ戦に関してはノータッチとの立場とし、プロモーター側としての仕事はスポーツニッポン新聞社と松井エンタープライズに任せるようにとの意見が理事サイドより出た。

第２号議題―『タイトリスト・アカデミックアワードについて』
２月16日にタイトリスト・アカデミックアワードが予定されていたが各学連とも内容が不十分であり参加応募が少ないため、３月初旬に開催されることが報告された。学連としても応募者の確保のために各地区学連への呼び掛け、また、２月主将・主務会議においてタイトリストの関係者に来ていただき話をして貰うなどの措置をとったことが報告された。
理事サイドより参加応募が少ない理由として、応募者の選考・推薦は監督・部長が行うべきだが、書類が学生に直接送られているため学生の間で判断がつきかねているためではないかとの声が出た。
今後、応募書類を監督・部長に送る方法を講じることにした。

第３号議題―『全日理事会について』全日会議が３月17日（日）に東京で行われるが、その際に各地区学連の学生に全日理事会について関東の理事の方からお話しをしてほしいとの意見が佐藤委員長より提案された。
本件は、３月16日(土)午後６時より関東学生ゴルフ連盟事務所内会議室において関東常任理事と学生との話し合いが持たれることが決まった。

第４号議題―『アンケート報告について』
２月３日（土）主将・主務会議においてアンケートが行われた。このアンケートは、各大学と学連との意見交換・相互理解を深めるために行われた。（アンケート結果報告については、別紙参照。）
結果から学連の存在などが十分に理解されていない面が多いことが分かり、このアンケートをもとにさらなる意思疎通を図っていくことにした。

第５号議題―『規約・競技規定改定について』
１月９日(火)に第１回競技規定見直し小委員会が開かれ競技規定の見直しが行われたが、さらに改正点があるため第２回目の見直し委員会の開催が高橋競技委員長より要請があり、２月27日(火)に第２回競技見直し小委員会の開催を決めた。

第６号議題―『その他』
１．アンケート結果から
アンケートの意見の中に試合数が少ないとの意見があったが、最近は大学間でのフレンドリーマッチなどは行われているのかとの意見が理事より出た。（フレンドリーマッチとは３・４大学が集まって互いの技術力向上・親睦をかねて試合を行うこと。）
実際、下位校のレベル向上は学連の中でも問題となっており、解決方法を模索しているのが現状である。しかし、フレンドリーマッチを学連主催とすると問題もある。学連はあくまでチャンピオンシップであるため、フレンドリーマッチに関してはガイドラインを示す程度に止めておくべきであるとの意見が理事より出た。

議事録作成　高谷 晶（千葉経済大学）

全日会議報告

全日会議議事録

日時　平成７年12月17日（日）10時00分～15時30分
場所　ホテルステーションプラザ
出席　佐藤、高橋、高谷、神戸、会津（関東学生ゴルフ連盟）　宮本、木村、萩野（北海道学生ゴルフ連盟）
　　木下、脇田（中部学生ゴルフ連盟）　森、木村（関西学生ゴルフ連盟）
　　河田、阿南（中四国学生ゴルフ連盟）　塩田（九州学生ゴルフ連盟）

議案及び決議事項の報告

第１号議題―『全日会計について』
今年度会計山下玄太より中間報告がなされた。全日会計内規（別紙プリント参照）が全会一致で可決された。

第２号議題―『平成８年度全日本学生ゴルフ連盟新役員選出』
委　員　長　佐藤博行（成蹊大学）
副委員長　神戸　淳（日本大学）　萩野拓也（北海学園大学）　脇田峰輝（名古屋学院大学）
　　森　晋吾（龍谷大学）　河田晃典（広島大学）　塩田真也（第一経済大学）
競技委員長　高橋竜太（慶應義塾大学）
副競技委員長　原田靖久（札幌学院大学）　木下裕樹（名古屋学院大学）　阿南　卓（広島工業大学）
　　廣戸慎太郎（福岡大学）
事務局長　高谷　晶（千葉経済大学）
事務局長補佐　各地区事務局長
会　　計　会津　周（東京国際大学）
広報局長　十時良明（駒澤大学）
企画事業局長　中村　裕（帝京大学）
上記のように新役員が選出された。なお、広報局及び企画事業局は関東学連のみであるため、関東の局長が全日の局長を兼任することとなった。

第３号議題―『全日理事会について』　全日理事会の活動について討議した結果、各学連より様々な意見が寄せられた。
賛成意見・理事の参加によって運営面（コース交渉など）・会計面において力になってもらえる。
・今後の全日の方向性など長期的なビジョンで考えると我々だけで一年間運営するより理事に参画してもらったほうが良い。
・学生の運営では限界を越える場面もあり、そのような時に理事の力を借りることができる。
反対意見・現状維持でも充分に活動できており理事会発足の意図が摑めない。
・理事の参画によるそれなりの見返りなどがわからない。
・(各地区の）理事会が機能していないので理事会自体の存在意義が把握できない。
・理事への対応の仕方、また全日の今後の変化が摑めない。
このような様々な意見が出されたが、各学連は理事会が機能しておらず対応に悩んでいるようであった。そこで、理事会が機能している関東委員長より、理事による参画の意味は学生の運営を束縛するものではなく、会計などの学生としての甘えがでる場面などでの参画、学生の枠を越える所での協力を意味するとの説明を加えた。
本議題は今会議での決議は見送り、学生の意見を関東学連より理事に話し、また、理事からも理事会についての意見を聞き、その結果を各学連に報告し３月に行われる全日会議において再度討議されることとなった。

第４号議題―『競技方法について』　本年度同様競技規定に基づいて来年度も行うことが確認された。

第５号議題―『朝日信夫について』
朝日新聞社より大会の定着、地元との協力を願い、信夫杯・朝日杯の開催コースを同じとするよう要請があった。
朝日新聞社だけではなく、他の新聞社への取材協力を呼び掛けるべきだとの意見があった。試合における事務処理の効率化、運営の円滑化のために予選会を早め、本選の３週間前にエントリーが完了できるようにとの意見が出た。

第６号議題―『平成８年度全日競技会日程・開催地について』
１．第19回全日本女子ゴルフ大学対抗戦
　練習ラウンド　６月10日　本選６月11・12日　瑞浪トーカイＣ．Ｃ
２．平成８年度全日本学生ゴルフリーグ戦
　練習ラウンド　６月19日　本選６月20・21日　三木Ｇ．Ｃ
３．第21回日米大学ゴルフ選手権
　練習ラウンド　７月29日　本選７月30日・８月１日　未定
４．第50回日本学生ゴルフ選手権
　練習ラウンド　８月19日　本選８月20・21・22・23日　額田Ｇ．Ｃ　東コース
５．第33回日本女子学生ゴルフ選手権
　練習ラウンド　８月20日　本選８月21・22・23日　額田Ｇ．Ｃ　東コース
６．'96　ＴＯＰＹ　ＣＵＰ
　練習ラウンド　９月16日　本選９月17・18・19日　棚倉甲冑倶楽部
７．第42回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権
　練習ラウンド　10月21日　本選10月22日　烏山城Ｃ．Ｃ
８．第44回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権
　練習ラウンド　10月21日　本選10月23・24日　烏山城Ｃ．Ｃ
９．文部大臣杯争奪第25回全日本学生ゴルフ王座決定戦
　練習ラウンド　11月最終週　本選11月最終週　広島Ｃ．Ｃ　西条コース

第７号議題―『全日競技各地区出場枠』

競技会名	北海道	関東	中部	関西	中四国	九州	合計
全日女子		4校	2校	3校			9校
全日リーグ	1校	4校	2校	3校	1校	1校	12校
日本学生	4	37+1(＊1)	11	21	5	5	84名(＊2)
日本女子学生	2	27	10	16	2	2	59名+11名(＊3)
TOPY CUP							(＊4)
信夫杯	1校	6校	2校	4校	2校	1校	16校
朝日杯	3	27	11	19	5	5	70名
文部大臣杯	2	25	13	22	4	4	70名

＊1…＋１は本年度優勝者の１名をあらわす。
＊2…JGAからの通達により今大会より４名の定員増加。
＊3…＋11名は未定。
＊4…TOPY CUPは全日リーグ上位８校が出場する。

第８号議題―『TOPY CUPについて』　大会概要が説明され来年度も本年度同様に行うことを確認した。
第９号議題―『日米大学ゴルフ選手権について』　大会概要が説明され来年度も本年度同様に行うことを確認した。
当競技の試合趣旨・情報が各地区学連に流れておらず、スポーツニッポン新聞社に情報協力をしてもらいたいとの意見が出た。
第10号議題―『第４回日米大学親善ゴルフトーナメントについて』
大会概要が説明され来年度も本年度同様に行うことを確認した。
第11号議題―『その他』
１．全日競技エントリー方法について
高橋競技委員長より、昨年度は各地区・各試合ごとにエントリー用紙が統一しておらず競技運営において混乱がみられたとの意見が出た。よって、今年度よりエントリー用紙を統一することが決定された。
２．ルール改正について
高橋競技委員長より、来年度は大幅なルール改正の年に当たるため、各学連はルールに熟知し、ルールトラブルが無いようにとの意見が出た。
３．女子プロテスト申し込みについて
同志社大学体育会ゴルフ部監督杉岡政紀氏より次のような文面が提出された。（別紙プリント参照）
“女子プロテスト申し込みについて”　“外国人留学生の学連登録について”　“大学の登録について”

議事録作成　高谷 晶（千葉経済大学）

平成8年度 競技日程

全日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟主催

KSGA KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION

男子

3月19日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟男子3月月例会(ユーアイG.C.)
4月2日　第22回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会(喜連川C.C.)
4月9日　第22回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権予選会(那須小川G.C.)
4月16日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟男子4月月例会(ユーアイG.C.)
4月23日・24日　平成8年度関東大学対抗春季ABブロック対抗戦(ユーアイG.C.)
4月25日・26日　平成8年度関東大学対抗春季CDブロック対抗戦(那須小川G.C.)
5月8日・9日　平成8年度関東大学対抗春季EFGブロック対抗戦(矢板C.C.)
5月14日・15日　第22回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権(江戸崎C.C.)
5月21日　第45回関東学生ゴルフ選手権第一次予選会(喜連川C.C.)
5月24日　第45回関東学生ゴルフ選手権第一次予選会(一の宮C.C.)
5月28日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟男子5月月例会(ユーアイG.C.)
6月4日　平成8年度関東大学対抗男子春季ブロック入替戦(新千葉G.C.)
6月18日　第45回関東学生ゴルフ選手権第二次予選会(鶴舞C.C.)
6月25日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟男子6月月例会(ユーアイG.C.)
6月27日・28日　第33回全日本大学ゴルフ対抗戦(三木G.C.)
7月2日～4日　第21回日米大学ゴルフ選手権(浜野G.C.)
7月30～8月2日　第45回関東学生ゴルフ選手権(鷹之台C.C.)
8月20日～23日　第50回日本学生ゴルフ選手権(額田G.C.東コース)
8月20日　第44回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権第一次関東地区予選会(喜連川C.C.)
8月23日　第44回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権第一次関東地区予選会(一の宮C.C.)
8月26日～30日　平成8年度関東大学対抗秋季Bブロックリーグ戦(棚倉田舎倶楽部)
8月28日・29日　平成8年度関東大学対抗秋季CDブロック対抗戦(ユーアイG.C.)
9月2日～6日　平成8年度関東大学対抗秋季Aブロックリーグ戦(棚倉田舎倶楽部)
9月3日・4日　平成8年度関東大学対抗秋季EFGブロック対抗戦(那須小川G.C.)
9月17日～19日　'96TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権(棚倉田舎倶楽部)
9月10日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟男子9月月例会(ユーアイG.C.)
9月12日　第42回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権関東地区予選(那須小川G.C.)
9月25日　第44回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権第二次関東地区予選会(鶴舞C.C.)
10月4日　平成8年度関東大学対抗男子秋季ブロック入替戦(矢板C.C.)
10月8日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟男子10月月例会(ユーアイG.C.)
10月22日　第42回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権(烏山城C.C.)
10月23日・24日　第44回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権(烏山城C.C.)
11月5日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟男子11月月例会(ユーアイG.C.)
11月25日　第34回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦(川越C.C.)
11月最終週　文部大臣杯争奪第25回全日本学生ゴルフ王座決定戦(広島C.C.西条コース)

上記スケジュールは、日程・コースともに変更する場合がありますが、ご了承ください。
尚、変更の場合は、随時お知らせします。

女子

4月1日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟女子3月月例会(ノーザンC.C.)
4月11日　第22回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権予選会(鳳凰G.C.)
4月17日・18日　平成8年度関東大学女子春季ABブロック対抗戦(ユーアイG.C.)
4月17日・18日　平成8年度関東大学女子春季CDブロック対抗戦(黒磯C.C.)
4月26日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟女子4月月例会(ノーザンC.C.)
5月8日・9日　平成8年度関東大学女子春季EFブロック対抗戦(那須小川G.C.)
5月14日・15日　第22回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権(江戸崎C.C.)
5月27日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟女子5月月例会(ノーザンC.C.)
6月5日　第34回関東女子学生ゴルフ選手予選会(凪月C.C.)
6月11日・12日　第19回全日本女子大学ゴルフ対抗戦(瑞浪トーカイG.C.)
6月11日　平成8年度関東大学女子春季ブロック入替戦(矢板C.C.)
6月24日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟女子6月月例会(ノーザンC.C.)
7月23日・24日　第34回関東女子学生ゴルフ選手権(ダイヤグリーンG.C.)
7月2日～4日　第21回日米大学ゴルフ選手権(浜野G.C.)
8月21日～23日　第33回日本女子学生ゴルフ選手権(額田G.C.東コース)
9月3日・4日　平成8年度関東大学女子秋季ABブロック対抗戦(ダイヤグリーンG.C.)
9月10日　第15回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権予選会(鳳凰G.C.)
9月13日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟女子9月月例会(ノーザンC.C.)
9月17日～19日　'96TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権(棚倉田舎倶楽部)
9月26日・27日　平成8年度関東大学女子秋季CDブロック対抗戦(矢板C.C.)
9月26日・27日　平成8年度関東大学女子秋季EFブロック対抗戦(黒磯C.C.)
10月1日～5日　第15回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権(セベG.C.)
10月7日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟女子10月月例会(ノーザンC.C.)
10月28日　平成8年度関東学生ゴルフ連盟女子11月月例会(ノーザンC.C.)
10月29日　平成8年度関東大学女子秋季ブロック入替戦(新千葉G.C.)
11月25日　第32回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦(川越C.C.)

上記スケジュールは、日程・コースともに変更する場合がありますが、ご了承ください。
尚、変更の場合は、随時お知らせします。

大妻女子大学

所在地 東京都千代田区三番町12

●創　　部　1968年
●現部員数　20名
●監　　督　荒田　実
●主　　将　青戸　理華
●モットー　ゴルフの技術の向上だけでなく、礼儀や人に対する思いやりや心配りなど、人間的な育成を目指しています。

私ども大妻女子大学体育会ゴルフ部は、週２回の練習と月１回の合同練習の他は自主練習としています。

長期休み中は、２回の総合合宿の他にリーグ戦に向けての準レギュラー合宿、レギュラー合宿を行い、重ねて自分でノルマを決めて練習しています。これは、個人のレベルの差があることや、人から打数や練習方法を与えられるよりも、自分で目標を持ち苦手なものを自主的に練習した方が効果的だと思うからです。このことにより、個々の意識が高まり、それが部全体のやる気につながることを望んでいます。

推薦はとらないという監督のご意向により、部員は初心者がほとんどで、現在厳しい状況におかれてます。

しかし、皆同じ状態から始めることにより、仲間意識や競争心というのが生まれるのだと思います。

今後も他校の皆様のご指導をいただき、より良い部を目指していきたいと思います。

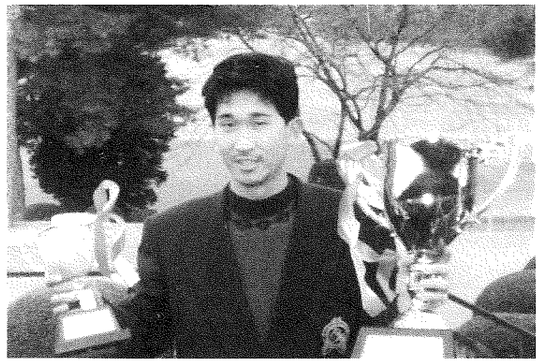
東京国際大学

所在地 埼玉県川越市的場北1-13-1　連絡先 0492(32)1111

●創　　部　1964年　●キャプテン　宮内　亨良
●現部員数　男子24名　●ＯＢ会長　木幡久理州
●部　　長　田村　春夫
●モットー　「公徳心と向上心」
社会に出ても恥じない礼儀を身につけることとともに、常にゴルフに対して向上心を持ち、部の発展のために努力する。

我々、東京国際大学体育会ゴルフ部では、毎日学校内にある練習場で打ち込みを中心とした練習を行い、毎週水曜日のミーティングでゴルフルールやゴルフコースの攻め方の勉強をしています。最近では、上位ブロックへの昇格を果たすために月に一度、ＯＢの方に来ていただき、ＯＢの方との親睦を深めながら、ゴルフ理論や技術を教えていただいております。週末には、皆さんも同じだと思いますが、キャディをし、お金を稼ぎ、キャディの前後にはコースに出てラウンド練習をしております。最後に、我々体育会ゴルフ部では、年々部員数が減ってきておりますが、少数精鋭部隊を目指して日々練習に励んでおります。

●平成７年度秋季Ｅブロックリーグ戦優勝
●並木　弘道プロ（当大学出身）



●優勝　杉本 周作君（近畿大学④）

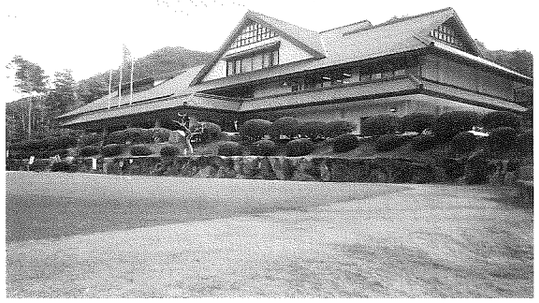
今大会は例年と違い、開催場所が中四国地区の広島カンツリー倶楽部・西条コースに変わり、平成７年11月28日から12月１日にわたり開催された。大会は、全日本学生ゴルフ連盟主催最後の試合でもあると共に、大学４年生また、各最終学年の学生ゴルフ連盟委員の生活において最後を占める試合でもあるため、皆の様子が普段と違い、一段と気を引き締めて今大会に挑んだように見えた。

大会は例年同様、平成７年度の日本学生ゴルフ選手権、朝日杯争奪全日本学生選手権の成績に準じ、また、全日本学生ゴルフ連盟の推薦をうけ、全国からゴルフの兵が集結し、この選りすぐられた選手の中から日本一が決定されることになった。

今大会に出場する選手の中に、昨年同大会で優勝した杉本周作君(近畿大学４年)、全日本学生ゴルフ選手権に優勝した木村友栄君(日本大学２年)、日刊スポーツ杯・朝日杯を制した国吉博一君（日本大学２年）らがおり、また、加えて若手の選手が伸びている状況にあり、今大会も非常にシビアな戦いになりそうであった。

大会初日18ホールズのクオリファイラウンドでは、林間コースで広い特徴のフェアウェーをいかに活用するかにかかり、飛ばし屋に最適なコースに見えた。まず、予選会をトップで通過したのは、日本大学２年生の国吉博一君で４アンダー（68ストローク)というスコアで快調なスタートをきった。また、今回もレベルの高い試合になり、６位までの選手たちは皆アンダーパーで予選を通過した。しかし、上位16人しか決勝に進出できないため、カットライン上の選手は、今年も９人という多数の選手でプレーオフを行った。その結果、中央学院大学４年生の阿原久夫君と東北福祉大学４年生の山田純一君の２人は、惜しくも大学最後の試合に終止符を打った。

大会２日目、朝から冷え込み、選手たちはウォーム アップに余念がなかった。また、18人からベスト４までの選手が選抜されるため、一日に賭ける選手もいた。中でも、大差で１回戦を勝ち上がった同志社大学１年生の田村圭君は、専修大学４年生の上田諭尉君に６－４で勝ち次へ駒を進めたが、２回戦で日本大学３年生の原口鉄也君に２－１で負け越してしまった。毎年大勢の選手たちが出場してきた日本大学は、予選通過者が４人という中で、同大学同士での対戦が第１回戦にて行われ国吉博一君（日本大学２年）が西原豊樹君（日本大学４年）に対して２－１と勝ち越した。また、今年も昨年と同じく、九州産業大学４年生の吉原信次君は、日本大学３年生の木島正憲君に２－１と負けたが、今後このように全日本学生ゴルフの試合の場に多くの地方の選手の参加を待ち望みたい。



広島カンツリー倶楽部 クラブハウス全景

現在、関西・関東からの出場選手が多いが、今後他地区の選手の出場もおおいに期待できそうだ。

第２回戦では、日本大学、近畿大学、同志社大学、

日本体育大学、法政大学などの選手が残り、各々の願いを内に秘め戦いあった。その中で、小暮大輔君（日本体育大学４年）と長瀬文彦君（法政大学４年）の対戦は、３―２と小暮君が勝ち、順調にこの試合を目指して仕上げてきたことがうかがえた。

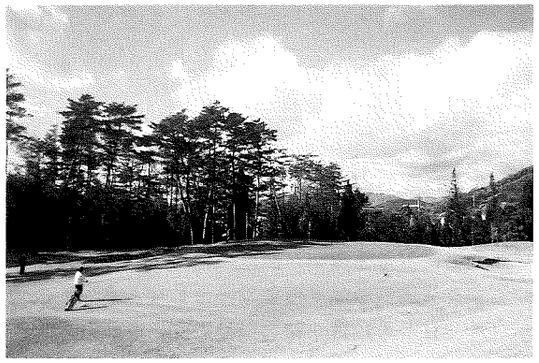
また、第１回戦において順調に勝ち上がった選手たちは、二回戦で、余韻を残しながら勝ち上がっていった選手もいるが、ほとんどが小差で勝ち進み、翌日の36ホールズの準決勝に今日の試合の反省点などを改め、新たな目標をもって各々が寝床に就いた。

大会３日目、中川勝弥君（近畿大学２年）と杉本周作君（近畿大学４年）の試合は同じ大学同士の対戦となり、中川君は５―４と杉本君に負けたが、学生最後となる先輩と全日本という大試合で対戦でき、中川君には今後の活躍を期待したい。また、原口鉄也君（日本大学３年）と小暮大輔君（日本体育大学４年）との対戦では２―１と危なげな試合展開で原口君勝った。試合最後に近づき、杉本君の前年度優勝者という立場における経験の豊かさが終盤での余裕か、計算された試合展開に圧倒された。

最終日は朝から雲行きが怪しく、時おり霰が降るような状況の中で、文部大臣杯争奪第24回全日本学生ゴルフ王座決定戦・決勝ラウンドが行われた。

原口鉄也君は、全日本という試合での優勝争いにおいて少しの間低迷していたが、今大会において何かを摑み試合に挑んだ。また、杉本周作君は、試合経験も多く特に日本アマチュア選手権の優勝で日本のつくタイトルを手にしているためかハングリー精神がうかがえた。

両選手は、互いに違う性質のゴルフをプレーした。原口君は、飛距離で勝り、ショートゲームで対抗していった。また、対照的に杉本君は、丁寧にコース



を攻め、フェアウェー、グリーンなどのミスを最小限に抑えてラウンドをしていった。このような展開で試合が進むに連れて、ミスの多さが目立った原口君は、杉本君の手堅い攻めに押さえ込まれ、実力が出し切れなかったように思えた。その結果、５―４で杉本君は原口君を下し同選手権連覇を成し遂げた。同大会優勝と日本アマチュア選手権を制した学生は、史上２人目で、卒業後もおおいに期待したい選手の一人となった。

日本大学　神戸 淳

result　文部大臣杯争奪第24回全日本学生ゴルフ王座決定戦

●主　　催　全日本学生ゴルフ連盟
　　日刊スポーツ新聞社
●後　　援　文部省
●期　　日　平成７年11月28日(火)～12月１日(金)
●使用コース　広島カンツリー倶楽部　西条コース
●参加資格　(1)本年度の日本学生ゴルフ選手権及び朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権の成績により、全日本学生ゴルフ連盟より10名推薦、残りは北海道２名、関東26名、中部13名、関西23名、中四国３名、九州４名を各地より推薦する。
　　(2)前年度優勝者
●競技方法　第１日　クォリファイラウンド(18Hs　ストロークプレー)
　　上位16名が決勝トーナメントに進出。
　　プレーオフは、サドンデス方式にて行い、そのスタートホールは学連が指定する。
　　第２日　１回戦18Hsマッチプレー(16名出場)　２回戦18Hsマッチプレー(８名出場)
　　第３日　準決勝36Hsマッチプレー(４名出場)
　　最終日　決勝戦36Hsマッチプレー(２名出場)　３位決定戦18Hsマッチプレー(２名出場)
●天　　候　第１日　晴　　第２日　晴　　第３日　晴　　最終日　曇一時雪

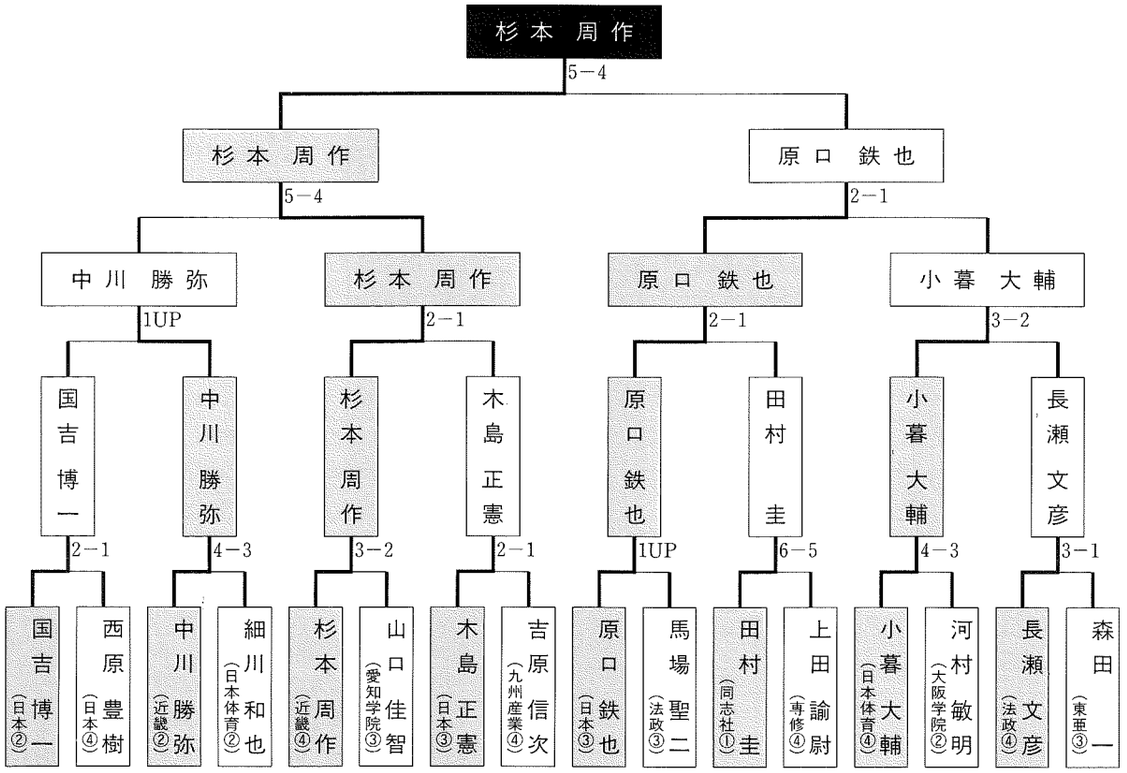
成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	国吉　博一	日本②	32	36	68	40T	鳴本　友我	近畿④	35	43	78
2T	原口　鉄也	日本③	35	34	69		長尾　卓	日本③	39	39	78
	小暮　大輔	日本体育④	33	36	69		伊藤　勇治	名古屋商科④	39	39	78
4	杉本　周作	近畿④	35	35	70		米倉憲太郎	日本①	38	40	78
5T	木島　正憲	日本③	35	36	71		山川　太一	京都③	40	38	78
	長瀬　文彦	法政④	35	36	71		新井規一郎	東洋④	39	39	78
7	田村　圭	同志社①	36	36	72		高橋　竜彦	日本③	38	40	78
8T	中川　勝弥	近畿②	37	36	73		安喜　豊	名古屋商科①	40	38	78
	細川　和也	日本体育②	35	38	73	48T	手塚　拓磨	法政③	36	43	79
10T	上田　論尉	専修④	36	38	74		牧　寛	立命館④	36	43	79
	森田　一	東亜③	38	36	74		辻村　明志	日本②	36	43	79
	吉原　信次	九州産業④	37	37	74		冲野　克文	東亜②	41	38	79
	山口　佳智	愛知学院③	37	37	74		植村　一	日本③	36	43	79
	河村　敏明	大阪学院②	39	35	74		前原　光弘	日本②	39	40	79
	馬場　聖二	法政③	36	38	74		平松　芳彦	東亜①	42	37	79
	西原　豊樹	日本④	39	35	74	55T	山田　慎介	九州産業①	38	42	80
74ストロークの９名によりサドンデスプレーオフを実施。その結果16名が決勝トーナメントに進出。							津田　猛	近畿③	39	41	80
	阿原　久夫	中央学院④	37	37	74		薮内　啓三	日本体育④	39	41	80
	山田　純一	東北福祉④	36	38	74		小林　正則	日本②	37	43	80
19T	木村　友栄	日本②	38	37	75	59T	佐竹　達之	龍谷④	39	42	81
	石井　靖信	近畿③	36	39	75		上田　成人	日本③	40	41	81
	岡野　忠弘	日本体育④	35	40	75		安部　信良	同志社④	39	42	81
	矢野　学	日本④	35	40	75		今井英二郎	愛知②	38	43	81
	今野　康晴	日本④	39	36	75	63T	田島　創志	日本①	39	43	82
24T	重原　啓利	日本④	34	42	76		春日井大祐	名古屋商科③	41	41	82
	山本　元成	日本④	39	37	76		井神　寿	大阪学院①	38	44	82
	操上　尚剛	北海道東海②	40	36	76		橋本　雄一	桃山学院④	42	40	82
	宮里　聖史	近畿①	38	38	76	67T	杉浦　順平	札幌学院④	42	41	83
	武田　康宏	立命館③	38	38	76		伊澤　秀樹	名古屋商科③	38	45	83
	若林　孝典	中部④	41	35	76	69T	伊藤　知大	名古屋学院②	42	42	84
	工藤　辰成	名古屋商科①	38	38	76		鈴木　雅士	専修④	40	44	84
31T	中島　庸全	近畿④	34	43	77		辻　信康	近畿④	41	43	84
	平井　龍泰	名古屋学院②	38	39	77		竹崎周太郎	立命館③	41	43	84
	大桑　暢之	近畿③	39	38	77	73T	長野　正弥	日本①	40	45	85
	鬼塚　大輔	名古屋商科②	36	41	77		浅井　勝史	大阪学院④	43	42	85
	上野　幸雄	近畿④	38	39	77		森本　哲司	桃山学院③	40	45	85
	古庄　紀彦	日本③	38	39	77		牧野　充宏	愛知①	39	46	85
	安川　剛志	九州産業③	36	41	77	77	坂倉　俊哉	桃山学院①	40	46	86
	南川　史雄	近畿①	36	41	77	78T	加藤　隆啓	名古屋学院②	43	44	87
	岩本　高志	専修③	39	38	77		金丸晴一郎	九州国際④	39	48	87

決勝トーナメント

3位決定戦

中川　勝弥
2−1
中川　勝弥　／　小暮　大輔



総評　第43回朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権

優　勝　国吉博一君（日本大学②）中央
準優勝　今野康晴君（日本大学④）左
3　位　植村　一君（日本大学③）右

10月25・26日にわたり、朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権は、烏山城カントリークラブにて開催された。競技方法は、1日27Hs、2日間トータル54Hsストロークプレーで、1日目45位タイまでの選手が決勝ラウンドへ進出するという形で行われた。この大会は、全国から、各地区の予選を通過してきた選手が、レベルの高い技術を競い合い、学生ゴルフのレベル向上の場ともなる。注目すべき選手は、今大会二連覇をねらう日本大学の今野康晴君を含む日本大学の選手たちであろう。

第1日目強風吹きすさぶ中、トップに立ったのは、27ホール・パー108を111ストロークで回ってきた日本大学の田島創志君であった。この強風の中での3オーバーというスコアは、アンダーパーにも匹敵するといえる好スコアであろう。そして、2位に112ストロークで同じく日本大学の国吉博一君3位に113ストロークで日本体育大学の細川和也君、日本大学の山本元成君、前原光弘君、矢野学君という日大勢が並び、3ストローク内に6人がひしめきあうという混戦模様となった。また、5ストローク以内では13人がひしめきあい、上位選手も油断のできない試合展開となった。そして、この日、122ストローク、43位タイ、50名が第2日目の決勝ラウンドへ進出した。第2日目、空はすっかり晴れ、昨日と比べ格段に風がないという絶好のコンディションとなった。

しかし、ハーフを終えた時点では、それ程飛びぬけたスコアを出す選手はいなかった。アンダーパーを出した選手は少なく、ほとんどの選手は、パープレーから、30代後半のスコアであった。しかし、後半の1ラウンドはハーフでアンダーパーを出す選手もぽつぽつと現れた。烏山城カントリークラブは、各コースに本丸、二の丸、三の丸と城のような名前がつけられているが、主にスコアがよかったのは、二の丸のようである。そして、二の丸でスコアをのばし、他を堅くまとめた選手が優勝すると思われた。

優勝したのは、本丸を38、二の丸を35、三の丸を39と予想どうり二の丸を1アンダーで回り、他の二つを堅くまとめた日本大学の国吉博一君であった。2位は前日115ストロークと出おくれたものの、2日目110ストロークでまとめた同じく日本大学の今野康晴君であった。そして、3位には、また同じく日本大学の植村一君が入った。

今大会は今年から、烏山城カントリークラブで開催されることになったが、難易度が高く、高いレベルの試合を見ることができ、うれしく思った。学生のトップレベルの選手たちは、トップとしての誇りを持ち、ルール・マナーに精通してくれることを望みたい。そして我々としても大会をすばらしいものにするよう努力していきたいと思います。

中央大学　戸谷 鉄太郎

result

第43回 朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権

●主　　催　朝日新聞社、全日本学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成７年10月25日(水)～26日(木)
●使用コース　烏山城カントリークラブ
●競技方法　１日27Hs、２日間計54Hsストロークプレーとし、第１日目45位タイまでの選手が決勝出場。(２日間TOTALで１位タイの場合はプレーオフにて決着)
●取得権利　本大会上位16位以内の選手は、来年度本大会の出場権を獲得する。
●天　　候　第１日　晴　強風　　第２日　晴

成績

順位	氏名	大学名	第１日				第２日				GRAND TOTAL
			東	西	南	TOTAL	東	西	南	TOTAL	
1	国吉　博一	日本②	39	39	34	112	38	35	39	112	224
2	今野　康晴	日本④	35	40	40	115	37	36	37	110	225
3	植村　一	日本③	37	38	39	114	37	35	40	112	226
4T	田島　創志	日本①	36	37	38	111	40	39	37	116	227
	細川　和也	日本体育②	39	39	35	113	38	35	41	114	227
	山本　元成	日本④	38	37	38	113	38	39	37	114	227
7	前原　光弘	日本②	37	38	38	113	41	36	38	115	228
8T	矢野　学	日本④	38	38	37	113	39	37	40	116	229
	鬼塚　大輔	名古屋商科②	39	37	39	115	39	38	37	114	229
	大友　正幸	東北福祉③	40	41	36	117	38	35	39	112	229
11T	長尾　卓	日本③	38	39	37	114	41	37	38	116	230
	武田　康宏	立命館③	39	37	40	116	36	38	40	114	230
	森田　一	東亜③	40	41	39	120	38	34	38	110	230
	上田　成人	日本③	39	40	42	121	37	38	34	109	230
15T	今井英二郎	愛知②	41	40	35	116	36	38	41	115	231
	薮内　啓三	日本体育④	42	37	40	119	39	36	37	112	231
本大会16位以内の選手が来年度本大会の出場権を取得。											
17T	重原　啓利	日本④	40	37	38	115	38	39	41	118	233
	岡野　忠広	日本体育④	38	40	41	119	37	40	37	114	233
	馬場　聖二	法政③	44	37	38	119	39	38	37	114	233
20T	手塚　拓磨	法政③	39	40	36	115	42	36	41	119	234
	高橋　竜彦	日本③	43	40	36	119	38	37	40	115	234
22T	古庄　紀彦	日本③	39	38	39	116	40	42	37	119	235
	大桑　暢之	近畿③	40	38	39	117	41	39	38	118	235
	石井　忍	日本③	39	38	42	119	35	40	41	116	235
25	中川　勝弥	近畿②	43	38	42	120	39	37	40	116	236
26T	米倉憲太郎	日本①	38	40	38	116	39	38	44	121	237
	春木　郷志	札幌③	42	37	39	118	40	38	41	119	237
	伊澤　秀樹	名古屋商科③	40	41	40	121	37	39	40	116	237
	岩本　高志	専修③	40	40	41	121	42	37	37	116	237
	宮嶋　直	中央学院④	40	42	39	121	38	38	40	116	237
31T	近藤　規生	愛知学院④	37	41	37	115	40	41	42	123	238
	岡野　英身	日本体育①	40	44	38	122	39	35	42	116	238
33T	長野　正弥	日本①	40	38	41	119	38	39	43	120	239
	上田　諭尉	専修④	42	43	36	121	37	37	44	118	239
35T	小暮　大輔	日本体育④	40	42	38	120	41	39	40	120	240
	原口　鉄也	日本③	43	39	38	120	41	39	40	120	240
	佐野木昌裕	専修①	39	41	40	120	40	40	40	120	240
	新井規一郎	東洋④	42	38	41	121	39	38	42	119	240
	山田　慎介	九州産業①	41	40	41	122	40	38	40	118	240
40	牧野　充宏	愛知①	41	38	40	119	39	41	42	122	241
41	鈴木　雅士	専修④	40	40	42	122	37	39	44	120	242
42	金丸晴一郎	九州国際④	36	40	41	117	44	40	43	127	244
43T	山田　豊弘	京都④	40	39	40	119	42	39	45	126	245
	安川　剛志	九州産業③	37	43	40	120	47	37	41	125	245
45	橋本　雄一	桃山学院④	38	41	39	118	41	44	43	128	246
46	伊藤　勇治	名古屋商科④	42	38	42	122	44	38	44	126	248
47	茶山　夏樹	広島経済②	43	40	39	122	42	43	45	130	252

成績

順位	氏名	大学名	第１日				第２日				GRAND TOTAL
			東	西	南	TOTAL	東	西	南	TOTAL	
48	新谷　敦	大阪学院④	38	43	41	122	46	43	43	132	254
49T	香山　秀樹	同志社④	40	39	43	122	棄権				
	田村　圭	同志社①	40	37	45	122	棄権				
以上初日43位タイまでの選手50名が決勝進出。											
51T	嶋本　友我	近畿④	42	39	42	123					
	鵜田　隆一	専修④	42	40	41	123					
	小林　正則	日本②	40	45	38	123					
	竹崎周太郎	立命館③	43	39	41	123					
	山田　純一	東北福祉④	41	43	39	123					
	石井　靖信	近畿③	45	39	39	123					
	井神　寿	大阪学院①	38	41	44	123					
	三輪　芳久	名古屋商科①	39	42	42	123					
	色部　久昭	東洋③	43	40	40	123					
60T	長瀬　文彦	法政④	38	45	41	124					
	香西　武生	大阪学院③	44	39	41	124					
	河村　敏明	大阪学院②	43	38	43	124					
	木村　友栄	日本②	41	42	41	124					
	牧　寛	立命館④	40	43	41	124					
	佐藤　禎治	日本②	41	41	42	124					
	安喜　豊	名古屋商科①	42	42	40	124					
	谷川　健	佐賀④	39	38	47	124					
68T	山口　佳智	愛知学院③	45	40	42	127					
	吉田　大輔	専修②	44	44	39	127					
	内藤　裕之	札幌学院①	42	40	45	127					
71T	平井　龍泰	名古屋学院②	44	38	46	128					
	吉原　信次	九州産業④	46	42	40	128					
	森本　哲司	桃山学院③	42	42	44	128					
	小川　洋	青山学院③	41	41	46	128					
75T	樋口　純弘	立命館②	43	45	41	129					
	若林　孝典	中部④	47	41	41	129					
	西原　豊樹	日本④	43	41	45	129					
	星木　武三	東亜③	43	43	43	129					
	杉浦　順平	札幌学院④	42	41	46	129					
80T	辻村　明志	日本②	46	43	41	130					
	下川路　尊	東亜④	42	46	42	130					
	阿原　久夫	中央学院④	41	44	45	130					
	正木　裕二	関東学院③	41	38	51	130					
84T	大西　健二	東亜④	44	42	45	131					
	森　晋吾	龍谷③	39	44	48	131					
	中田　靖人	慶應義塾③	43	48	40	131					
87	山川　太一	京都③	43	45	44	132					
88T	中島　庸全	近畿④	43	43	49	135					
	若原　志信	愛知学院④	41	49	45	135					
	中島　申隆	第一経済③	44	43	48	135					
棄権	津田　猛	近畿③									
棄権	春日井大祐	名古屋商科③									
棄権	中西　平忠	大阪学院④									

世界スペック、世界プライスで新登場。

アメリカで買う「タイトリスト」と、日本で買う「タイトリスト」に価格差をなくしたい。ことし、タイトリストはスペック、プライスすべてに“世界共通”をめざします。世界ツアーの7割以上が使うタイトリストの高いクオリティをあなたに。

Titleist®

No.1 ball in the world of professional golf.

日本タイトリスト株式会社　〒103 東京都中央区日本橋久松町11-6日本橋TSビル4F TEL.03-3639-1515 大阪営業所 〒541大阪市中央区北久宝寺町1-2-8 中央東船場ビル4F　お客様相談ダイヤル 03-3639-1797

Yokota + PRGR

どっちもガンバル。

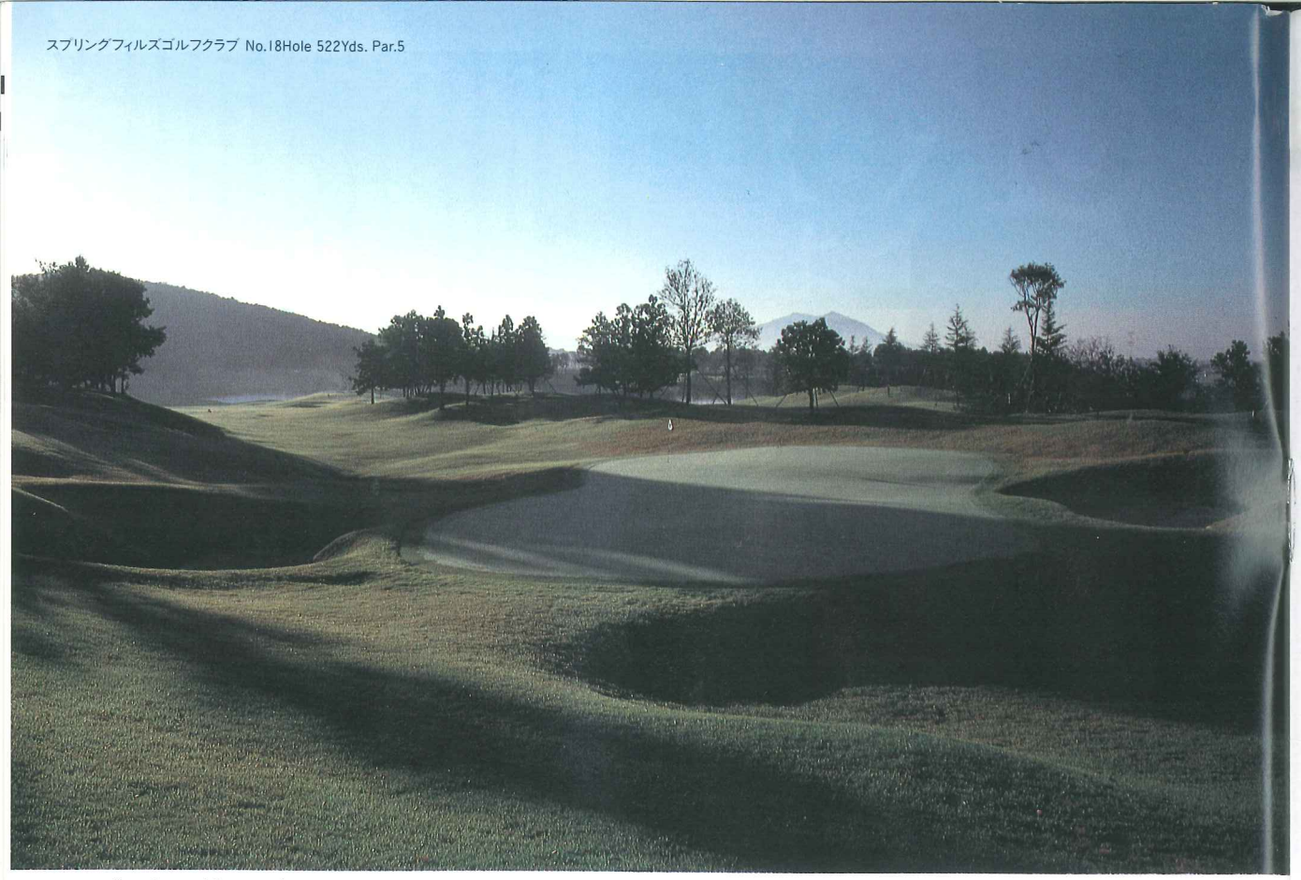
今年注目のルーキーといえば誰もがまず名前を上げる横田真一。23歳。身長172センチ、体重68キロは決して恵まれた体格とはいえないが、昨年プロテストを一発で合格し、その余勢を駆って翌年のツアー出場をかけた最終統一予選会もあっさりと通過した勝負根性は並みではない。92年には日本オープンのベストアマにもなっている。試合中はビシッとリーゼントにキメて自分に気合いを入れる。勝負はテンションがなければダメ。しかしアマ時代と違って4日間それを維持するのは至難の技だ。テンションを下げても予選を通過するのが本物のプロ。自分は一時トップに立ってもすぐ凹むからまだ半人前とくったくがない。ドライバーはロフト9度の黒チタン。高く上がってスピンの少ないボールが打てるので距離もかせげる。アイアンはDATA601。とにかくクラブは信頼性が大事。自分で納得のいくショットをしているのに思わぬボールが出ては次から安心して使えない。常にイメージ通りの球が打てること。それがクラブの信頼性だという。とりあえず今年の目標はシード権を取ることと控えめだが、「マスターズには解説者でもいいから行きたいなア」

Shinichi Yokota

'72年　東京都出身
'90年　水城高校卒
'92年　日本オープンベストアマ
'94年　専修大学商学部卒
　　プロテスト合格
'95年　つるやオープン 11位T
　　フジサンケイクラシック 11位T

資料請求・お問い合せ/株式会社プロギア TEL.03(3436)3341 名古屋支店 TEL.052(201)8264・5 大阪支店 TEL.06(222)6878 福岡支店 TEL.092(761)3700 製造元/横浜ゴム株式会社 スポーツ事業部 TEL.03(5400)4740(直)

スプリングフィルズゴルフクラブ No.18Hole 522Yds. Par.5



●スプリングフィルズゴルフクラブにて開催
第32回 会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦
第34回 会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦

ゴルフは、時に磨かれる。

美しい自然の中で悠々とゴルフを愉しむ。
それは、たっぷりと流れている豊かで輝かしい時間を生きるということ…。
私たち総武都市開発は、
創業以来30余年、常にそう信じ続けています。
その想いが、何よりも自然環境を生かしたゴルフ場へと繋がり、コース管理から
社員教育に至るすべての運営の基本ポリシーとして脈々と受け継がれています。
そして、先進であることも私たちの誇り。
絶えず時代に挑戦した新しいゴルフ場の創造、
既存コース・クラブハウスの改築に積極的に取り組んでいます。
ゴルフと共に生き、真に豊かな時間を提供する。
それこそが私たちの使命。
総武都市開発は、長年の経験に磨かれたプロフェッショナルな思想と
ノウハウの尊さをいつまでも忘れません。

第33回優勝
岡野英身
(日本体育大学1年)

第31回優勝
小俣奈三香
(中央学院大学1年)

総武都市グループ

●総武カントリークラブ・総武コース●総武カントリークラブ・印旛コース●総武カントリークラブ・北コース●中山カントリークラブ●武蔵野ゴルフクラブ●川越カントリークラブ●妙高カントリークラブ●ソーブグアムコース●パインツリーゴルフクラブ●スプリングフィルズゴルフクラブ●アルパインカントリーゴルフクラブ●軽井沢森泉ゴルフクラブ

総武都市開発株式会社
〒101 東京都千代田区神田錦町3-13-7
TEL.03-3292-5271(代表)

THEORY セオリー

「理論」という名の先進。セオリー

超大型300ccチタン

HEAD

300cc 超大型チタン	重心距離が長い 41.0mm	→ 重心でのヘッドスピードが上がる	最大飛距離
	フェース厚46.0mmのディープフェース	→ 上下のミスを気にせずに思い切り叩ける	
	慣性モーメントが大きい (左右) 3.257g·cm² (上下) 2.019g·cm²	→ ワイドスイートエリアで飛距離、方向性が安定	
超ロングテール形状	重心深度が深い 33.6mm	→ ボールが上がりやすい	
	重心アングルが大きい 24.1°	→ ボールがつかまりやすい	

SHAFT

キックポイント R-ミドル(40%) RS-ハイ(43%) S -ハイ(43%)	ローキック(通常37%前後)に比べてスピン量を抑える	アゲインストの風にも負けない吹き上がらない弾道	最大飛距離
ウエイト R -54g RS-58g S -62g	トータルウエイト300g(W#1・45R)を実現する軽量設計-RスイングのS安定性を考慮した最適ウエイト設計——RS.S	•ヘッドスピードを上げる •安定したスイングが平均飛距離を伸ばす	

ゴルフが10年、若くなる。

G-3チタンキャビティ

8Iセット(5~9,PW,FW,SW)…㋐価格¥360,000
単品アイアン(4)……㋐価格¥45,000
■フェアウェイウッドの飛びとミドルアイアンの打ちやすさを兼ね備えた純チタンロングアイアン「LI319」(I#3)もあります。……㋐価格¥45,000

最高は、勝つためにある。チームダイワ

TEAM DAIWA

チームダイワ510

10Iセット(3~11,SW)……㋐価格¥200,000
単品アイアン(2)……㋐価格¥20,000

セオリーチタン 300cc NEW

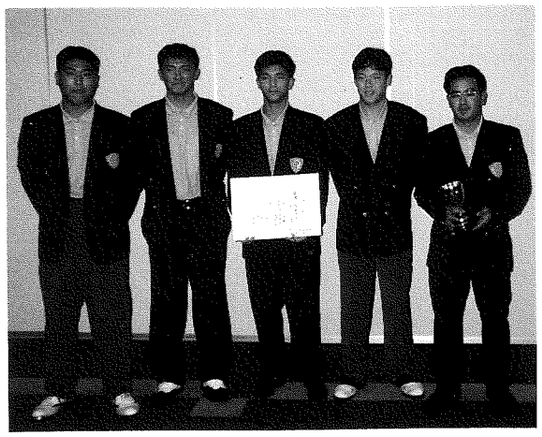
シャフト●カーボフレックス MK50G(R)、HK50G(RS)、HK60G(S)(硬さ:長さ…R、RS、S:45)
ヘッド●6AL4Vチタン合金
総重量●300g(45R)、304g(45RS)、310g(45S)
単品ウッド(1〈10°、11°〉、3、4、5(UF))…㋐価格¥95,000
※10°はRSとS、11°にはRとRSがあります。
フェアウェイウッドにはブラスレールソールを装着。

㋐価格とはメーカー希望小売価格(税別)の事です。 ●ご使用の前には取扱説明書をよくお読みください。
※数値は基準値です。

ダイワ精工株式会社
ゴルフ事業部
〒203東京都東久留米市前沢3-14-16
TEL:0424(79)7722(代表)

Daiwa COMMITTED TO TOTAL QUALITY
ダイワ精工株式会社

総評　第41回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権



●信夫杯優勝校　日本大学

第41回信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権が、今年から栃木県の烏山城カントリークラブに舞台をうつして開催された。競技方法は関東から6校、関西から4校、中部から3校、北海道、中四国、九州から各1校ずつ各地方の方法により選出された16校により行われる団体戦である。1校7名エントリー5名出場上位4名のトータルスコアにより順位を決する。この大会は、全国大会の団体戦とはいっても27ホールでの1日のみの競技なので、少しのミスがチームに多大な影響を与えてしまう。この中で日本大学が4名のトータルスコア450ストローク（＋18）で優勝し、全日本大学生ゴルフ対抗戦の雪辱を果たし、連勝記録への第一歩を踏み出した。そして昨年近畿大学と同スコアで5人目のスコアによって準優勝となった日本体育大学は、昨年のような強さは見られず4位に終わった。また、同スコアの末3位だった近畿大学は、エースの杉本周作君（4年）の欠場にもかかわらず、準優勝となった。さすがに全日本学生ゴルフ対抗戦で優勝しただけにチーム層の厚さを感じさせた。3位には、昨年の大会では6位だったが、全日本学生ゴルフ対抗戦で3位に入った専修大学が実力通りの力を見せた。5位に入ったのは、昨年13位と振るわなかった東北福祉大学である。昨年の試合経験者が多く残ったことと1年間の努力の結果がこの成績に結び付いたのだと思う。今後は今年より更に上の順位を目指して頑張って欲しいと思います。5年ぶりの出場となった青山学院大学は、4名のトータルスコア497ストロークの9位となった。今年の選手は皆初めての出場なので健闘したといえると思う。昨年5位、全日本学生ゴルフ対抗9位と満足のいかない成績だった中央学院大学に、さらに頑張ってもらいたいと思っていたが、屈辱的な12位に終わってしまった。来年以降の選手の頑張りに期待したいと思う。今年からコースが変わり、やや難しくなったこともあると思うが、昨年よりスコアが全体的に下がってしまったことは残念に思う。他の地区の大学の成績が伸びなやんだのもここにあるのではないかと思う。また今大会のメダリストは日本大学の今野康晴君で、1.5ラウンドを107ストロークの1アンダーで回り、昨年に続き獲得した。

●メダリスト
今野 康晴君
（日本大学④）

最後になりましたが、日本大学の皆さんおめでとうございます。そしてコースを提供してくださいました烏山城カントリークラブの皆様、さらに朝日新聞社の皆様に心より御礼申し上げます。

東京農業大学　黒田 周太郎

result　第41回 信夫杯争奪全日本大学対抗ゴルフ選手権

●主　　催　朝日新聞社、全日本学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成7年10月24日(火)
●使用コース　烏山城カントリークラブ
●競技方法　27Hsストロークプレー、7名エントリー5名出場、上位4名のトータルスコアによりで順位を決定。
●参 加 校　札幌大学、日本大学、専修大学、日本体育大学、東北福祉大学、青山学院大学、中央学院大学、愛知大学、愛知学院大学、愛知工業大学、近畿大学、同志社大学、大阪学院大学、立命館大学、東亜大学、九州産業大学
●天　　候　曇後ち雨

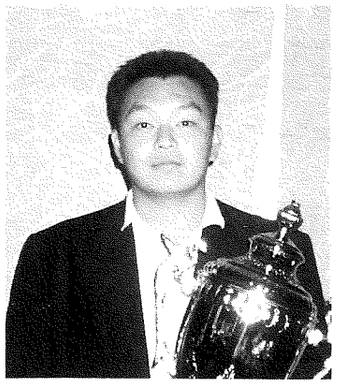
成績

順位	大学名	氏名	本丸	二の丸	三の丸	TOTAL	GRAND TOTAL
優勝	日本大学	今野　康晴④	36	35	36	107	450
		原口　鉄也③					
		長尾　卓③					
		国吉　博一②	34	37	39	110	
		辻村　明志②	39	38	44	121※	
		前原　光弘②	37	37	40	114	
		木村　友栄②	37	43	39	119	
第2位	近畿大学	中島　庸全④	45	41	43	129※	460
		嶋本　友我④					
		大桑　暢之③	32	38	38	108	
		石井　靖信③	44	37	42	123	
		津田　猛③	38	39	39	116	
		中川　勝弥②	38	39	36	113	
第3位	専修大学	上田　諭尉④	39	39	39	117	461
		鈴木　雅士④	40	38	39	117	
		鵜田　隆一④	40	39	41	120※	
		佐藤　彰洋③					
		岩本　高志③	35	37	37	109	
		吉田　大輔②					
		佐野木昌裕①	43	38	37	118	
第4位	日本体育大学	佐藤　嘉弘④					468
		尾又　泰雅④					
		薮内　啓三④	40	37	40	117	
		小暮　大輔④	37	38	38	113	
		岡野　忠広④	41	37	39	117	
		細川　和也②	43	41	37	121	
		岡野　英身①	39	40	43	122※	
第5位	東北福祉大学	梶井　亮介④	43	39	40	122	480
		山田　純一④	43	42	43	128※	
		小林　功④					
		大友　正幸③	40	36	42	118	
		新井　竜也②					
		和田　正義①	39	39	40	118	
		大野　良徳①	40	42	40	122	
第6位	愛知学院大学	近藤　規生④	38	38	42	118	483
		若原　志信④	40	39	43	122	
		太田　剛久③	41	39	43	123	
		岡田　敦嗣③	43	41	45	129※	
		山口　佳智③	42	39	39	120	
		武市　悦宏②					
		西本　正昭②					
第7位	東亜大学	大西　健二④					484
		下川路　尊④					
		森田　一③	39	38	37	114	
		沖野　克文②	40	38	39	117	
		小林　正彦②	44	41	43	128	
		坂口　裕一②	45	41	44	130※	
		平松　芳彦①	44	39	42	125	
第8位	立命館大学	牧　寛④	39	45	39	123	485
		橋本　貴紀④	44	40	45	129※	
		武田　康宏③	38	38	37	113	
		樋口　純弘②	45	37	39	121	
		竹崎周太郎③	41	41	46	128	
		小坂　克也②					
		伊藤　大修②					

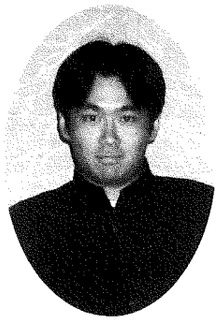
順位	大学名	氏名	本丸	二の丸	三の丸	TOTAL	GRAND TOTAL
第9位	青山学院大学	石川　渉④	40	43	42	125	487
		小川　洋③	37	41	42	120	
		熊澤　孝保③	41	44	47	132※	
		原田　武秀③	38	40	40	118	
		中嶋　健生③					
		福士　岳城②					
		五十川馬理①	41	41	42	124	
第10位	同志社大学	安部　信良④	41	44	37	122	499
		香山　秀樹④	44	44	44	132※	
		奥村　治③	45	42	43	130	
		木村　有三③	42	41	43	126	
		鈴木　竜介③					
		田村　圭①	43	42	36	121	
		泉　太一郎①					
第11位	大阪学院大学	香西　武生④	39	40	52	131※	500
		金谷　美隆③	44	41	43	128	
		石塚　清貴③	38	45	39	122	
		田中　政佳②					
		河村　敏明②					
		高瀬　英嗣②	42	41	44	127	
		井神　寿①	43	40	40	123	
第12位	中央学院大学	阿原　久夫④	43	38	46	127	502
		宮嶋　直④	41	39	44	124	
		後藤　勲③	39	41	41	121	
		横須賀寛之③					
		須藤　正浩②	44	44	42	130	
		五町　達也②	47	42	45	134※	
		山田　嘉一②					
第13位	九州産業大学	吉原　信次④	41	41	45	127	503
		矢野　逸平④	46	46	46	138※	
		清家　眞爾④	41	44	43	128	
		安川　剛志③	37	42	47	126	
		井手公太郎③					
		佐藤　啓②					
		山田　慎介①	41	40	41	122	
第14位	愛知工業大学	小澤　一夫③	40	40	45	125	504
		伊藤　友洋③	45	44	49	138※	
		野波　弘一③	41	41	43	125	
		木村　栄治③					
		平田　聖尚②	40	45	43	128	
		湯川　真一②					
		中田慶史郎①	46	37	43	126	
第15位	愛知大学	金森　敏樹④	39	43	44	126	510
		横山　幸生④	48	43	43	134※	
		児玉　稔④					
		大橋　純智③					
		林　正憲③	48	40	43	131	
		今井英二郎②	41	39	42	122	
		牧野　充宏①	41	44	46	131	
第16位	札幌大学	日下部保行④	47	38	43	128	523
		井上　清孝③	43	42	42	127	
		松本　直樹④					
		小田　直幸③	61	47	50	158※	
		佐々木　康③	50	48	46	144	
		春木　郷志③	42	41	41	124	
		野原　崇③					

メダリスト：今野 康晴（日本大学④）107ストローク

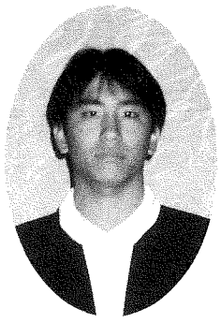
総評　第33回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦



●優勝
岡野 英身君
(日本体育大学①)



●準優勝
奥住 哲郎君
(成蹊大学②)



●3位
河中 雄太君
(拓殖大学①)

第33回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦が、11月27日、今年も総武都市開発の皆様のご好意により、茨城県のスプリングフィルズカントリークラブで行われた。今年度の関東学生ゴルフ連盟主催競技会の最後を飾る今大会は、上位5位タイに入賞すると来年度の第22回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権への出場権を取得することができるため、新人達にとって来年度以降大きく飛躍するための登竜門となっている。今年も例年と同様早朝の冷えこみが厳しく、選手達は念入りにウォーミングアップを行い、体を温めていた。今回、熱戦の舞台となったスプリングフィルズカントリークラブは、18ホール中13ホールまでが池やクリークに絡むレイアウトになっており、更にフェアウェイに微妙な起伏があり、常に気の抜けない正確なショットが要求される難コースで、また寒さによるコンディションの悪化も絡み、とても好スコアを望める状態ではなかった。

この大方の戦前の予想を覆すスコアでハーフを終了したのが、日本体育大学の岡野英身君である。4バーディー（1ボギー）の、ただ1人アンダーパーの33という爆発的スコアで大会をリードした。3打離れて36に成蹊大学の奥住君、37に拓殖大学の河中君、専修大学の堀江君の両名が続く展開となった。しかし、後半のインコースはアウトコースに比べて難しいので、まだまだ優勝が読めない状況であった。

後半のハーフに入りトップを走る岡野君は、出だしの10番でバーディーを奪ったものの、後半崩れ、41というスコアとなったが、追いかける他の選手もスコアを伸ばせず、結局大量リードに守られた岡野君が2位に2打差の74というスコアで優勝した。続く2位には奥住君、3位には河中君、そして後半38というスコアで追い上げた、慶應義塾大学の梅村君が4位に入賞した。日本体育大学はシード権を獲得する5位タイ以内に優勝した岡野君を筆頭に、木田君、豊岡君の3人が入り、Aブロック校の実力、層の厚さを証明する形となった。

最終結果を見ると、1年間の各学連月例で良い成績を残した選手でも70代のスコアが4人という結果に終わり、さすが難コースという印象が感じられた。試合後、出場選手の1人は、コースの魔物に引き込まれそうになったと洩らしていた。試合終了後に催された小パーティーで表彰式が行われ、優勝者の岡野君によるスピーチがあった。口数が少なく、ひかえめではあったが、他の試合の優勝者とは異なった新人らしい初々しさをのぞかせた。来年度以降の活躍が大いに期待される。また、今年も例年同様、スロープレーが目立った。新人なので多少はしょうがないが、来年以降スロープレーに対するペナルティーが厳しくなるので、是非選手一人ひとりのスロープレーに対する自覚を促したい。

最後になりましたが、この大会を開催するにあたって、多大なご協力を賜りました総務都市開発の関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

慶應義塾大学　髙橋 竜太

result　第33回 会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦

●主　　催　関東学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成7年11月27日(月)
●使用コース　スプリングフィルズゴルフクラブ
●競技方法　18Hs　ストロークプレー
●出場資格　平成7年度関東学生ゴルフ連盟男子月例会の上位7位以内(タイを含む)の選手
●取得権利　競技会時点におけるシード保持者以外の上位5位タイまでの選手が、来年度第22回日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権への出場権を獲得する。
●天　　候　晴

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	岡野　英身	日本体育①	33	41	74
2	奥住　哲郎	成蹊②	36	40	76
3T	河中　雄太	拓殖①	37	41	78
	梅村　　寧	慶應義塾③	40	38	78
5T	佐野木晶裕	専修①	38	42	80
	木田　　徹	日本体育①	41	39	80
	豊岡　弘行	日本体育②	41	39	80
以上、上位7名、5位タイまでの選手が日刊スポーツ杯争奪関東学生ゴルフ選手権への出場権を取得。					
8T	久保谷和明	中央学院①	40	41	81
	堀江　知史	専修①	37	44	81
10T	長岡　篤徳	学習院③	39	43	82
	岡部　博信	和光①	44	38	82
	梅橋　智昭	慶應義塾③	42	40	82
	高橋　貴之	武蔵②	40	42	82
	川俣　雅昭	立教③	41	41	82
15T	小沢　知之	早稲田③	40	43	83
	有我栄一郎	玉川③	42	41	83
	飯泉　貴幸	中央学院③	41	42	83
	森川　道成	國學院②	40	43	83
	渡辺　　洋	中央学院③	40	43	83
	布川　貴久	慶応義塾①	42	41	83
	大久保裕司	早稲田③	41	42	83
22T	井田　豊久	國學院②	40	44	84
	石井　英治	早稲田①	41	43	84
	鈴木　康仁	東北学院①	43	41	84
25T	保坂　英徳	上智②	45	40	85
	小賦　龍司	千葉経済②	43	42	85
27T	金沢　剛純	学習院②	45	41	86
	佐渡　　伸	日本体育③	46	40	86
	渡辺　　潤	日本体育②	42	44	86
	須藤　敦史	明治③	45	41	86
	尾崎　洋介	東北福祉②	42	44	86
32T	中村進一郎	東北福祉①	41	46	87
	新井田勇二	神奈川③	42	45	87
	古柴　利安	専修①	43	44	87
35T	武田　靖憲	帝京③	42	46	88
	亀田　文俊	東京農業③	41	47	88
37T	飯塚　貴則	中央学院③	45	44	89
	新山　達雄	中央学院③	46	43	89
	郡司　直明	中央学院①	46	43	89
40	大和久成雄	八千代国際②	45	45	90
41T	川瀬　裕吾	学習院②	49	42	91
	池永　彦弥	玉川②	43	48	91
43	岡村　典俊	獨協③	46	46	92
44	岩立　誠治	大東文化①	46	47	93
45T	飯塚　　仁	明海②	49	45	94
	神戸　　淳	日本③	52	42	94
	小山　貴史	成城③	47	47	94
48T	増淵　欣弥	日本体育①	51	44	95
	金子　　透	千葉商科③	47	48	95
	片桐　豊文	帝京③	44	51	95
	桝谷　房男	帝京③	44	51	95
52	根岸　威人	東京経済③	52	44	96
53	宮野　光司	麗澤②	50	51	101
54	根岸　宏考	専修②	57	46	103
失格	山本誠志郎	千葉経済②			

総評　第31回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦

●優勝
小俣 奈三香さん
(中央学院大学①)

●準優勝
小幡 ますみさん
(東北福祉大学①)

●3位
吉田 寛子さん
(玉川大学①)

第31回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦が、第33回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦と同じ11月27日に、今年も総武都市開発の皆様のご好意により、茨城県のスプリングフィルズゴルフクラブで行われた。昨年の大会と同様に今年も朝から冷え込みが厳しく霜が降りるくらいだった。

この大会は、月例大会の通過者が集うものであり、これからの活躍を期待される新人選手達が一堂に集まる大会でもある。また上位5位タイまでの選手は、第22回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権の出場権を取得することができるので、選手にも緊張感があったことだろう。

女子は、イン一アウトコースの1ラウンドで行われた。典型的な林間コースで難しく、池が多く点在する。また特に午前中はグリーンのコンディションがあまり良くなかったので、好スコアは期待できない状態にあった。

試合の方は、インコース終了時点で、明治大学の佐藤紀代さんが40で回り、それに続いて東京都立大学の岡本久仁子さんが4打差、中央学院大学の小俣奈三香さん、東北福祉大学の小幡ますみさんら4人が5打差で追う展開となった。

アウトコースに入って後続の選手がスコアを伸ばしてきた。小俣さん、小幡さんが40というスコアを出したのをはじめ、玉川大学の吉田寛子さん、中央学院大学の佐野歩美さんが41と好スコアを出し、上位は大混戦となってきた。インコースでトップに立った佐藤さんはアウトコースでスコアを崩し、優勝争いから後退してしまった。18ホール終了時点で、中央学院大学の小俣奈三香さんと、東北福祉大学の小幡ますみさんが、ともに85ストロークで並びプレーオフを行うことになった。プレーオフ1ホール目で小俣さんが競り勝ち今大会を制した。3位には玉川大学の吉田寛子さん、4位には日本大学の高山知香子さん、5位には中央学院大学の佐野歩美さんと東京都立大学の岡本久仁子さんが入賞し、以上の6名が第22回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権の出場権を獲得した。このスプリングフィルズゴルフクラブは、月例を通過してきた選手達にとってもスコアをまとめるのに苦労するほど難コースのようであった。試合終了後に行われた小パーティーでの、小俣さんのスピーチは、今後の活躍に期待が持てそうな気がした。

最後になりましたが、今大会の開催に当たり、多大な御協力を賜わりました総武都市開発の関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

東京農業大学　黒田 周太郎

result　第31回 会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦

●主　　催　関東学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成7年11月27日(月)
●使用コース　スプリングフィルズゴルフクラブ
●競技方法　18Hs　ストロークプレー
●出場資格　平成7年度関東学生ゴルフ連盟女子月例会の上位7位以内(タイを含む)の選手
●取得権利　競技会時点におけるシード保持者以外の上位5位タイまでの選手が、来年度第22回日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権への出場権を獲得する。
●天　　候　晴

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	小俣奈三香	中央学院①	40	45	85
2	小幡ますみ	東北福祉①	40	45	85
3	吉田　寛子	玉川①	41	45	86
4	高山知香子	日本①	43	45	88
5 T	佐野　歩美	中央学院①	41	48	89
	岡本久仁子	東京都立②	45	44	89
以上、上位6名、5位タイまでの選手が日刊スポーツ杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権の出場権を取得。					
7 T	佐藤　紀代	明治③	50	40	90
	米田美佐子	東京②	43	47	90
9 T	内海和香子	洗足学園短期②	45	46	91
	大岡　晃子	東北福祉①	45	46	91
	工藤たか子	共立女子②	44	47	91
12	飯塚　朋子	新潟②	46	46	92
13T	飯野　理恵	共立女子③	48	46	94
	中野美穂子	東洋英和女学院③	47	47	94
15T	柳原　園子	成城③	49	46	95
	矢花　慶子	慶應義塾①	45	50	95
17T	石谷　奈美	学習院②	50	46	96
	酒巻　芙容	玉川①	48	48	96
	草加美奈子	慶應義塾②	48	48	96
20T	丸山　悦子	東京農業②	50	47	97
	福本　　泉	明治学院②	47	50	97
	高林みどり	東京農業②	49	48	97
	地井麻衣子	慶應義塾②	48	49	97
24T	中川みのり	聖心女子③	49	49	98
	藤井　美緒	学習院②	45	53	98
	若狭満美子	聖心女子③	48	50	98
27	野沢真奈美	新潟②	49	50	99
28T	青山　未来	玉川②	46	54	100
	山口由利子	東北福祉①	50	50	100
	古谷　奈央	立教③	44	56	100
31	遠藤　珠子	成蹊②	55	46	101
32T	小川麻衣子	実践女子②	53	49	102
	中吉奈緒美	和光③	53	49	102
	細矢　千穂	國學院②	50	52	102
	大森　美恵	東洋③	49	53	102
	遠藤　　弓	玉川②	51	51	102
	川口　史麻	明治①	47	55	102
38T	安井美江子	日本体育③	52	51	103
	石塚麻衣子	東洋英和女学院③	52	51	103
	守分三紀子	日本体育③	52	51	103
	名倉　裕子	文教③	48	55	103
42T	西郷　友子	立教③	53	51	104
	鏡味麻衣子	東京都立②	50	54	104
44	五十嵐淳子	東北福祉①	53	52	105
45T	柴山　美樹	東洋英和女学院③	55	51	106
	伊澤実佐子	立教②	52	54	106
	村松三彩子	聖心女子③	48	58	106
48	馬場　泰子	東洋英和女学院③	57	50	107
49T	野村　知代	玉川②	53	55	108
	高橋　麻里	学習院②	56	52	108
51	大西　　桂	玉川③	51	58	109
52	鳴川万希子	立教②	49	61	110
53	野間　香里	日本女子③	54	57	111
54T	木村　有希	共立女子③	59	54	113
	峯尾　真実	共立女子②	54	59	113
56	小薮　美花	共立女子③	59	55	114
57	河野真理亜	白百合女子③	52	63	115
58	杉若　玲子	青山学院①	53	64	117
優勝は、サドンデスプレーオフにより決定					

総評

第14回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権

優　勝　有藤智香さん（日本大学④）中央
準優勝　大竹康子さん（日本大学③）左
3　位　渡辺玲子さん（日本体育大学③）右

第14回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権が平成７年10月３日から７日までの５日間にわたり、茨城県のセベ・バレステロスゴルフクラブで行われた。この競技会は、１日目18ホールズストロークプレーによりクォリファイ者を16名にしぼり、２日目以降は、18Hsマッチプレーにより勝敗を決する競技大会であり、技術はもちろんのこと、体力も必要とする競技会である。このコースは、セベ・バレステロスが設計したコースで、アップダウンが激しく、グリーンアンジュレーションがきつい、とても難しくつくられたコースなので、１打１打に丁寧さも必要とする。

昨年までは、初夏の暑い時期に行われていたが、今年から秋の開催に変更になり、やや肌寒い中で行われた。さて試合の方だが、大竹さん（日本大学）の選手宣誓により女性の熱き戦いの幕がきって落とされた。１日目トップであがったのは、渡辺さん（日本体育大学）で75ストローク、２位には有藤さん大竹さん（共に日本大学）、牛込さん（慶應義塾大学）が並んだ。クォリファイ者16名は、昨年とは違い様々な大学の選手が残り、選手の健闘が目についた。

２日目からは、決勝トーナメント１対１のマッチプレーが行われた。１日目トップの渡辺さんは、上村さん（昭和女子大学）と対戦し２－１で勝ち３日目に進んだ。他の７選手も順当に勝ち進んだが日本大学が２名しか残れず、波乱とも思える試合となった。

３日目、実力のある８名が残り、好試合が期待された。渡辺さんは金沢さん（早稲田大学）に２－１で勝ち４日目に進んだ。この他、有藤さん、中村さん（早稲田大学）、大竹さんが勝ち進んだ。

４日目、いよいよ準決勝。渡辺さん対大竹さん、中村さん対有藤さんという組み合わせで行われた。結果、大竹さんが３－２で、有藤さんが３－１で勝ち進み、決勝は日本大学の先輩と後輩で行われることになった。

いよいよ最終日。３位決定戦は渡辺さん対中村さん、決勝戦は、大竹さん対有藤さんで行われた。３位決定戦は、渡辺さんが４－２で中村さんに勝ち第３位に輝いた。注目の決勝戦だが、昨年の本大会の２回戦で両選手は対戦しており、その時は大竹さんが４－３で勝っているだけに激戦が予想された。大竹さんが先手を取り、有藤さんが取り返すという手に汗にぎる試合となった結果、有藤さんが２－１で勝ち一昨年に続いて２回目の優勝を飾った。

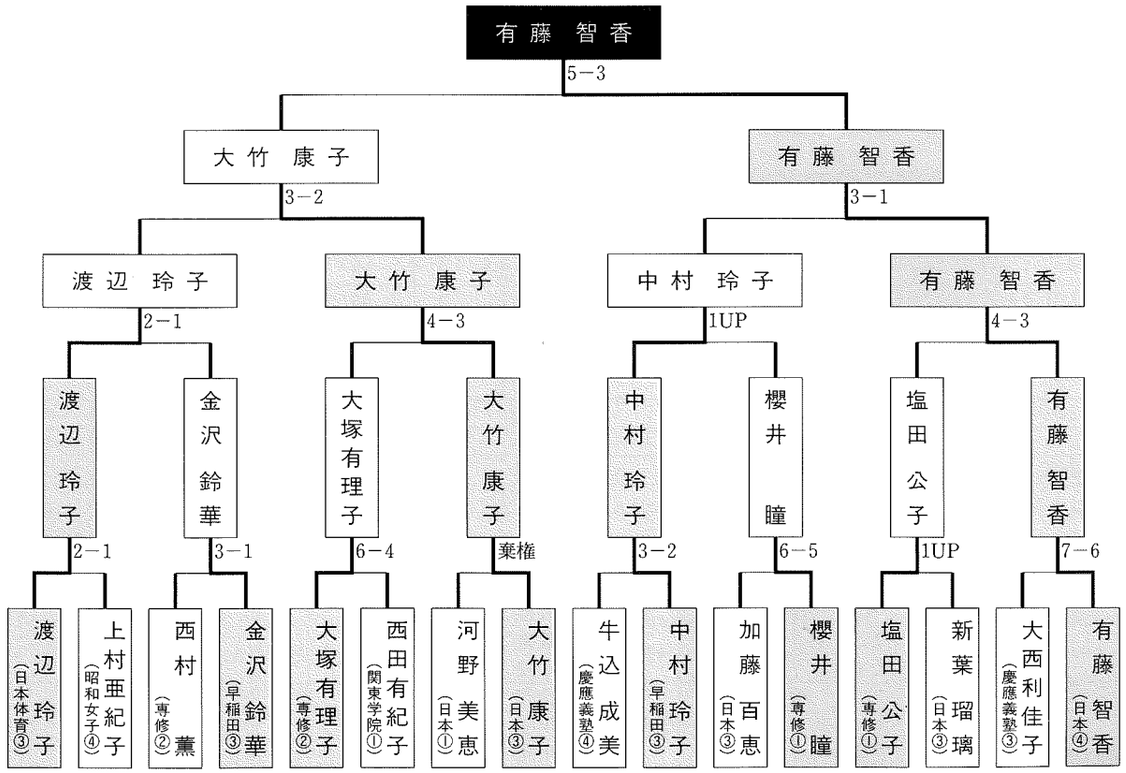
今大会を振り返ると、大きな問題もなく、５日間無事に終えることができた。競技の方では新しい顔ぶれの活躍が目立ち、頼もしい結果となった。
最後に、コースを提供してくださったゴルフ場の関係者の方々に心より感謝申し上げます。

東京農業大学　黒田 周太郎

決勝トーナメント

3位決定戦

渡辺　玲子
4－2
渡辺　玲子　／　中村　玲子



result

第14回 関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権

●主　　催　関東学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成７年10月３日(火)～７日(土)
●使用コース　セベ・バレステロスゴルフクラブ　6,450Yards Par72
●競技方法　１日目　18Hsストロークプレー（クォリファイラウンド）
２日目　決勝トーナメント　１回戦　18Hsマッチプレー
３日目　決勝トーナメント　２回戦　18Hsマッチプレー
４日目　決勝トーナメント　準決勝　18Hsマッチプレー
５日目　決勝トーナメント　決勝及び３位決定戦　18Hsマッチプレー
●出場資格　a）当連盟競技規定によりシード権を得た選手。
b）当連盟が開催する第14回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権予選会を経て出場権を得た選手。
●取得権利　本選クォリファイ者は、第22回日刊スポーツ杯関東女子学生ゴルフ選手権、第34回関東女子学生ゴルフ選手権及び第15回関東女子学生ゴルフマッチプレー選手権の出場権を獲得する。
●天　　候　第１日　晴　第２日　晴　第３日　晴　第４日　晴　第５日　晴

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	渡辺　玲子	日本体育③	38	37	75
2 T	有藤　智香	日本④	36	40	76
	大竹　康子	日本③	37	39	76
	牛込　成美	慶應義塾④	38	38	76
5	大塚有理子	専修②	39	38	77
6	櫻井　瞳	専修①	38	40	78
7 T	金沢　鈴華	早稲田③	38	41	79
	塩田　公子	専修①	38	41	79
	西村　薫	専修②	41	38	79
	新葉　瑠璃	日本③	40	39	79
11	加藤　百恵	日本③	39	41	80
12	西田有紀子	関東学院①	44	40	84
13 T	大西利佳子	慶應義塾③	42	43	85
	河野　美恵	日本①	44	41	85
	中村　玲子	早稲田③	43	42	85
16 T	上村亜紀子	昭和女子④	43	43	86
以上16名が初日クォリファイ					
	宮嶋　恵	中央学院③	41	45	86
18T	桑野真紀子	中央学院②	43	44	87
	森山　真妃	日本体育③	43	44	87
20	境　友紀子	慶應義塾①	44	44	88
21T	小林明希子	日本③	45	44	89
	米山　淳子	玉川④	45	44	89
23	小俣奈三香	中央学院①	45	45	90
24T	矢田みゆき	早稲田③	42	49	91
	岡野美樹子	東海④	48	43	91
26T	高橋　史恵	日本④	47	45	92
	千田麻美子	青山学院④	48	44	92
	小林千江子	日本②	45	47	92
29	佐野　歩美	中央学院①	49	44	93
30T	角田　ケイ	玉川②	51	43	94
	杉山　裕子	慶應義塾③	48	46	94
	渡辺　景子	慶應義塾③	47	47	94
33	松本麻衣子	青山学院③	50	45	95
34	山口　愛	明治③	46	50	96
35	溝口与志子	玉川④	51	50	101
36	安藤　ゆう	玉川④	54	49	103

総評

平成７年度関東大学対抗男子秋季ブロック入替戦

平成７年10月６日、各選手の緊張感を表わすような曇り空の中、新千葉カントリークラブにおいて、平成７年度関東大学対抗男子秋季ブロック入替戦が行われた。今回も20校が参加しての入替戦となった。

A—Bブロック入替戦は東北福祉大学と青山学院大学の午前シングルス、午後ダブルスのマッチプレーで行われ、シングルスでは１組オールスクウェアが出る程実力が均衡しており両校ともポイント差をつけることができなかった。しかし、ダブルスでは東北福祉大学が実力の違いを見せ、ダブルス４組中３組で勝利し、結果５ポイントの差をつけAブロック残留を決定した。

B—Cブロック入替戦は亜細亜大学と神奈川大学のこちらもシングルス、ダブルスのマッチプレーで行われた。シングルスでは、神奈川大学が２ポイントリードしていたが、亜細亜大学がダブルスで盛り返し、両校同ポイントの大接戦となった結果、亜細亜大学のBブロック残留が決定した。

C—Dブロック入替戦は玉川大学、立教大学、中央大学、成城大学の４校18Hsストロークプレーで行われ、立教大学は６人中４人が70台という安定した実力で残留を決め、次いで中央大学が立教大学に３ストローク及ばなかったもののCブロック昇格を果たした。春季入替戦で昇格したばかりの玉川大学は実力を発揮することができずブロック降格となった。

D—Eブロック入替戦は一橋大学、東京農業大学、東京国際大学、帝京大学の４校18Hsストロークプレーで行われ、今大会で５季連続入替戦出場となる帝京大学が２位に11打の大差をつけて念願のブロック昇格を果たし、次いで一橋大学がDブロックの残りのイスを我が東京国際大学と２打差の接戦の末、死守した。

E—Fブロック入替戦は東京大学、新潟大学、武蔵大学、桜美林大学の４校18Hsストロークプレーで行われ、終始安定した実力を見せた東京大学が残留を決め、次いで武蔵大学も安定した実力でブロック昇格を果たした。桜美林大学は飯高選手が77で回ってきたが、他の選手の実力が発揮されず昇格することができなかった。これは団体戦のブロック昇格の難しさを知る結果となった。

F—Gブロック入替戦は文教大学、城西大学、筑波大学、和光大学の４校18Hsストロークプレーで行われ、城西大学がまず残留を決め、全員80台前半で回り安定した実力をみせた和光大学がブロック昇格を果たした。筑波大学はリーグ加盟したばかりの勢いを見せることができず残留となった。

最後に今回の入替戦は目立った問題も無く大変順調に進行し良かったと思います。今後も、学生ゴルファーらしい服装やゴルフマナーを守って、ゴルフ場に迷惑をかけないようにしましょう。

東京国際大学　会津 周

result

平成７年度 関東大学対抗男子秋季ブロック入替戦

●主　　催　関東学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成７年10月６日(金)
●使用コース　新千葉カントリー倶楽部　つくもコース　6,374 Yards　Par 72
●競技方法　A・Bブロック入替戦（各ブロック１校　計２校）12名エントリー８名出場、午前シングルス８ポイント、午後ダブルス８ポイント、計16ポイント争奪18Hsマッチプレー。
B・Cブロック入替戦（各ブロック１校　計２校）10名エントリー６名出場、午前シングルス６ポイント、午後ダブルス６ポイント、計12ポイント争奪18Hsマッチプレー。
C・D、D・E、E・F、F・Gブロック入替戦（各ブロック２校　計16校）８名エントリー６名出場、上位５名のトータルスコアで勝敗を決定する。各入替戦とも、18Hsストロークプレー。
●参加校　東北福祉大学、青山学院大学、亜細亜大学、神奈川大学、玉川大学、立教大学、中央大学、成城大学、一橋大学、東京農業大学、東京国際大学、帝京大学、東京大学、新潟大学、武蔵大学、桜美林大学、城西大学、文教大学、筑波大学、和光大学
●天　　候　曇

平成７年度関東大学対抗 秋季ＡＢブロック入替戦

東北福祉大学	10.5	S	4.5－3.5	5.5	青山学院大学
		W	6－2		

●午前シングルス

1	大友　正幸③		A.S		小川　洋③
2	新井　竜也②		4－3	○	熊澤　孝保③
3	梶井　亮介④	○	2－1		中嶋　健生③
4	鈴木　英隆③	○	4－2		石川　渉④
5	大野　良徳①	○	3－2		金屋　秀樹③
6	小林　功④		2－1	○	五十川馬理①
7	和田　正義①	○	6－5		福士岳　城②
8	山田　純一④		1UP	○	原田　武秀③

●午後ダブルス

1	大友　正幸③ 鈴木　英隆③	○	1UP		福士岳　城② 金屋　秀樹③
2	梶井　亮介④ 和田　正義①		4－3	○	小川　洋③ 熊澤　孝保③
3	田中　吉彦② 大野　良徳①	○	7－6		石川　渉④ 五十川馬理①
4	小林　功④ 山田　純一④	○	4－2		原田　武秀③ 中嶋　健生③

以上の結果、
東北福祉大学の残留
が決定しました。

平成７年度関東大学対抗 秋季ＢＣブロック入替戦

亜細亜大学	6	S	2－4	6	神奈川大学
		W	4－2		

●午前シングルス

1	山田　智洋④	○	3－2		田原　健②
2	武藤　拓也①	○	2－1		大川　基康③
3	川元　秀典②		2UP	○	根津　武徳③
4	鈴木　健介②		3－2	○	秋山　剛司④
5	池田　克己④		7－5	○	松田　永基④
6	稲村　辰徳①		5－4	○	新井田勇二③

●午後ダブルス

1	池田　克己④ 山田　智洋④	○	2－1		秋山　剛司④ 押川　俊幸④
2	武藤　拓也① 稲村　辰徳①	○	2－1		新井田勇二③ 平良　善隆①
3	川元　秀典② 鈴木　健介②		1UP	○	松田　永基④ 根津　武徳③

以上の結果、
亜細亜大学の残留
が決定しました。

平成７年度関東大学対抗 秋季ＣＤブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
玉川大学	石井　豊④	38	42	80	413
	那須伸一郎④	39	41	80	
	癸生川喜弘②	40	47	87	
	山下　信政④	42	46	88※	
	有我栄一郎③	43	41	84	
	石田　伸介④	40	42	82	
立教大学	藤井　靖③	40	42	82	389
	角田　昌浩③	41	44	85※	
	江口　寿和④	37	39	76	
	宇和川　陽③	39	40	79	
	石渡　一郎②	36	40	76	
	川俣　雅昭③	36	40	76	
中央大学	中山　和昭③	38	40	78	392
	幸島　丈③	46	44	90※	
	澤　慎二郎③	39	35	74	
	幸島　慎③	42	41	83	
	大川　友矢③	40	39	79	
	大澤　亮二③	39	39	78	
成城大学	小川　龍矩④	42	43	85	403
	山本　成久④	41	38	79	
	小山　貴史③	37	42	79	
	山田　大輔②	40	47	87※	
	増田　裕康④	38	37	75	
	岩下　実④	41	44	85	

以上の結果、
立教大学の残留と、
中央大学の昇格
が決定しました。

平成７年度関東大学対抗 秋季ＤＥブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
一橋大学	加藤雄一朗③	38	38	76	417
	根崎　修一②	50	43	93※	
	村崎　大輔②	46	45	91	
	小畑　一乗③	44	40	84	
	藤井敬一郎③	41	41	82	
	豊島　竜介②	41	43	84	
東京農業大学	浅見　圭吾③	47	46	93	440
	杉田　周平③	51	47	98※	
	石井　雄一①	40	48	88	
	亀田　文俊③	44	43	87	
	伊藤　剛④	40	38	78	
	赤津　伸介④	46	48	94	
東京国際大学	佐間田直樹③	48	56	104※	419
	加勢　貴裕③	43	46	89	
	下山　洋介④	41	48	89	
	竹村　克哉④	41	38	79	
	渡部　良之④	39	39	78	
	宮内　亨良③	40	44	84	
帝京大学	武田　靖憲③	43	41	84	406
	桝谷　房男③	40	42	82	
	片野　純男④	38	41	79	
	平賀　元久①	45	41	86※	
	木原　修④	40	39	79	
	吉田　孝治④	42	40	82	

以上の結果、
一橋大学の残留と、
帝京大学の昇格
が決定しました。

平成７年度関東大学対抗 秋季ＥＦブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
東京大学	広瀬　哲④	41	43	84	408
	山口　博正②	40	43	83	
	藤岡　淳②	39	43	82	
	茅野　秀介④	39	42	81	
	木下　翔④	38	40	78	
	三浦　晃④	43	50	93※	
新潟大学	後藤　茂一①	42	42	84	423
	長澤　義之②	42	39	81	
	手島　隆幸③	43	49	92※	
	大下　健一③	41	46	87	
	和田　正道③	40	44	84	
	佐藤　学③	44	43	87	
武蔵大学	勝亦　伸一①	41	42	83	418
	斎藤　真③	45	41	86※	
	小林　伸行②	40	44	84	
	石川　晃之②	42	38	80	
	高橋　貴之②	41	44	85	
	八鍬　大介③	46	40	86	
桜美林大学	飯高　格③	36	41	77	421
	飯田　健司③	41	40	81	
	鍛代　達也②	51	53	104※	
	大浦　巧④	40	41	81	
	林　康隆④	44	42	86	
	斉藤　敬重②	48	48	96	

以上の結果、

東京大学の残留と、武蔵大学の昇格

が決定しました。

平成７年度関東大学対抗 秋季ＦＧブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
文教大学	田中　克①	40	48	88	427
	島村伸二朗③	43	47	90	
	戸田　丈之②	40	42	82	
	柚木崎　尚①	47	42	89	
	堀内　真③	40	46	86	
	岡澤　吉恭③	40	42	82	
城西大学	松本　和嗣④	39	42	81	420
	田嶋　智徳④	42	44	86	
	奥田　俊輔④	43	41	84	
	渡辺　朋宏④	44	45	89	
	栗田慎一郎④	47	46	93※	
	奥沢　茂④	41	39	80	
筑波大学	市毛　淳①	43	47	90	433
	山崎　真②	45	45	90※	
	山村　憲弘①	40	50	90	
	田中　薫①	42	43	85	
	砂原　克俊③	39	44	83	
	森口　洋充④	40	45	85	
和光大学	増田　栄一①	45	45	90※	412
	加藤　善彦④	40	43	83	
	溝手　一平④	37	44	81	
	三上　真吾④	42	40	82	
	岡部　博信①	41	41	82	
	西別府　徹②	44	40	84	

以上の結果、

城西大学の残留と、和光大学の昇格

が決定しました。

総評

関東大学女子秋季ブロック入替戦

平成７年度関東大学女子秋季ブロック入替戦が10月31日に那須小川ゴルフクラブで少し肌寒い曇り空の中、行われました。

Ａ―Ｂブロック入替戦は法政大学と中央学院大学によって争われました。中央学院大学は山本理恵さん（３年）が86ストローク、宮嶋恵さん（３年）が87ストロークと３年生の活躍が目立ち、トータルで352ストロークであった。一方、法政大学も細野ハヅ季さん（１年）が86ストローク、野田智津子さん（３年）が87ストロークと健闘したが、トータルで368ストロークで、16打差で中央学院大学が法政大学を破り、中央学院大学のＡブロック昇格が決定した。これで中央学院大学は男子、女子共にＡブロックとなり、これは日本大学、専修大学、日本体育大学に次いで４校目の快挙を成し遂げたことになる。

Ｂ―Ｃブロック入替戦は獨協大学と明治大学との間で争われました。獨協大学は岡田弥生さん（４年）が86ストローク、対する明治大学も佐藤紀代さん（３年）が86ストロークと健闘し、実力差のあまりない大学同士の最後まで目の離せない試合展開となった。トータルスコアは獨協大学が274ストローク、明治大学が273ストロークと１打差で明治大学のＢブロック昇格が決定した。今回、獨協大学は僅少の差で涙を飲んだが、これからＢブロック昇格を目指して頑張って欲しい。明治大学もＢブロックに甘んずることなくＡブロック昇格を目指して頑張って欲しい。

Ｃ―Ｄブロック入替戦は、成蹊大学、日本女子大学、東京農業大学、共立女子大学の間で争われた。Ａ―Ｂブロック入替戦は５名出場、上位４名のトータルスコアで争われるが、それ以下の入替戦は４名出場、上位３名のトータルスコアで勝敗が決まるため、個々の選手の１打が勝敗をより大きく左右する。Ｃ―Ｄブロックに関していえば、個々の選手が100ストロークを切れるかどうかが、ちょうど今回のＣ―Ｄブロック入替戦の勝敗のボーダラインだったのではないだろうか。トータルスコアは成蹊大学が301ストローク、日本女子大学が306ストローク、東京農業大学は、石井和美さん（４年）の87ストロークの健闘もあって、トータル290ストローク、共立女子大学は295ストロークで東京農業大学と共立女子大学のＣブロック昇格が決定した。

Ｄ―Ｅブロック入替戦は、明治学院大学、帝京大学、中央大学、白百合女子大学の間で争われました。今回、Ｄ―Ｅブロック入替戦は、中央大学の活躍が目立った。結果は、明治学院大学がトータル305ストローク、帝京大学が317ストローク、中央大学が297ストローク、白百合女子大学が302ストロークで中央大学と白百合女子大学のＤブロック昇格が決定した。中央大学は３年生と２年生だけでの出場であったが、健闘の末に、Ｄブロック昇格を果たした。また、明治学院大学も２年生の福本泉さんを中心とした、２年生と１年生だけのチームで今回の入替戦に臨んだが健闘空しく降格する結果となった。しかし、これからのチームなので、この経験を生かしてまた頑張って欲しい。

今回の入替戦は激しい変化がみられた。これはどの大学も着実に実力をつけてきて、ブロックごとの境が薄れてきたことを意味している。やはり、春、夏の合宿や日頃の練習を地道にやってきた大学が今回良い結果を得られたのだと思う。今回の入替戦で昇格できた大学はそれに満足することなく、さらに上を目指して頑張って欲しい。惜しくも降格してしまった大学も春のリーグ戦に向けて頑張ってください。

今回、大きな問題もなく競技を終了させることができました。関係者の方々、選手の皆さんお疲れ様でした。

中央学院大学　飯泉 貴幸

result

平成7年度 関東大学女子秋季ブロック入替戦

●主　　催　関東学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成7年10月31日(火)
●使用コース　那須小川ゴルフクラブ　東コース　6,467Yards Par72
●競技方法　(ABブロック)各校6名エントリー5名出場、上位4名のトータルスコアによる18Hsストロークプレー。(BC、CD、DEブロック)各校5名エントリー4名出場、上位3名のトータルスコアによる18Hsストロークプレー。
●参加校　法政大学、中央学院、獨協大学、明治大学、成蹊大学、日本女子大学、東京農業大学、共立女子大学、明治学院大学、帝京大学、中央大学、白百合女子大学
●天　　候　曇

平成7年度関東大学女子秋季ABブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
法政大学	丸山　佳子④	50	44	94	368
	野田智津子③	44	43	87	
	本多　友子②	56	45	101	
	細野ハヅ季①	45	41	86	
中央学院大学	山本　理恵③	45	41	86	352
	宮嶋　恵③	44	43	87	
	斉藤　香②	45	46	91※	
	桑野真紀子②	46	45	91	
	小俣奈三香①	46	42	88	
	佐野　歩美①				

以上の結果、
中央学院大学の昇格
が決定しました。

平成7年度関東大学女子秋季BCブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
獨協大学	岡田　弥生④	46	40	86	274
	鹿目奈津子④	47	47	94	
	高木　乃子④	52	53	105※	
	平岩　美香④	47	47	94	
	齋藤　智美①				
明治大学	臼木佳桜里④	51	45	96※	273
	斎藤友嘉里④	49	46	95	
	佐藤　紀代③	45	41	86	
	山口　愛③	46	46	92	
	川口　史麻①				

以上の結果、
明治大学の昇格
が決定しました。

平成7年度関東大学女子秋季CDブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
成蹊大学	岡田　眞希④	53	44	97	301
	井上　純④	54	46	100	
	長谷川郁子③	56	48	104	
	黒須　遊子③	54	52	106※	
	福井　友美③				
日本女子大学	山田有美子④	50	51	101	306
	安富　公美④	51	48	99	
	野間　香里③	56	50	106	
	大熊　聡子③	58	51	109※	
	鯨岡　美樹③				
東京農業大学	石井　和美④	40	47	87	290
	稲吉かなえ④	51	51	102※	
	高木麻易子④	48	53	101	
	高林みどり②	51	51	102	
	丸山　悦子②				
共立女子大学	飯野　理恵③	51	44	95	295
	小薮　美花③	56	52	108	
	工藤たか子②	47	45	92	
	峯尾　真実②	57	66	123※	

以上の結果、
東京農業大学と、
共立女子大学の昇格
が決定しました。

平成7年度関東大学女子秋季DEブロック入替戦

大学名	氏名	ローテーション OUT	IN	TOTAL	GRAND TOTAL
明治学院大学	福本　泉②	46	48	94	305
	伊藤安紀子①	51	49	100	
	大澤　弘実①	59	52	111	
	石山　智子①	55	59	114※	
	不破　直子①				
帝京大学	岩崎　由夏②	56	54	110	317
	石川　志穂②	59	54	113※	
	小林　理花④	52	57	109	
	望月　智子③	50	48	98	
	花輪あゆみ③				
中央大学	斉藤美弥子③	53	53	106※	297
	伊藤　里抄③	46	55	101	
	光塚　薫③	46	49	95	
	勝崎　順子②	49	52	101	
	山崎　智紗③				
白百合女子大学	江崎　千香④	47	46	93	302
	河野真理亜③	52	51	103	
	小林　恵理③	59	47	106	
	冨田　愛子③				
	大仲　文①	52	56	108※	

以上の結果、
中央大学と、
白百合女子大学の昇格
が決定しました。

result

平成７年度 関東学生ゴルフ連盟男子11月月例会

●主　　催　関東学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成７年10月31日(火)
●使用コース　ユーアイゴルフクラブ　皐月ー椿コース
●競技方法　18Hs　ストロークプレー
●取得権利　競技の結果、上位７位以内(タイを含む)までが会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場資格を獲得
●天　　候　曇

成績

順位	氏名	大学名	皐月	椿	TOTAL
1	神戸　淳	日本③	36	37	73
2	堀江　知史	専修①	41	35	76
3 T	根岸　宏考	専修②	42	38	80
	井田　豊久	國學院②	40	40	80
	新井田勇二	神奈川③	41	39	80
6 T	佐渡　伸	日本体育③	40	41	81
	飯塚　仁	明海②	41	40	81
以上、上位７名、６位タイまでの選手が会長杯に出場。					
8 T	瀬戸　貴之	関東学院③	43	39	82
	藤城　拓也	関東学院②	40	42	82
	湯浅　尋之	東京経済②	41	41	82
11T	神尾　敏光	八千代国際②	44	40	84
	滝　雄太	関東学院②	43	41	84
	癸生川喜弘	玉川②	43	41	84
14T	鈴木　一成	玉川③	42	43	85
	渡辺孝太郎	横浜国立②	44	41	85
	田中　克	文教①	43	42	85
	西脇　茂	日本体育③	41	44	85
18T	本條　聡	東京②	43	43	86
	辻　孝平	慶應義塾①	42	44	86
	野村　宗嗣	学習院③	46	40	86
	飯田　健司	桜美林③	45	41	86
	垣内　大祐	専修①	47	39	86
	渡部　祐士	上智②	42	44	86
	木村　雅彦	東京都立②	43	43	86
	大久保光彦	明海③	42	44	86
	池田　幸司	東北福祉③	42	44	86
	内田　雄	法政②	45	41	86
28T	田中　清	いわき明星②	45	42	87
	藤原　淳	駿河台③	45	42	87
	久保田浩二	東北福祉③	42	45	87
31T	月井　好美	千葉経済②	43	45	88
	野原　浩義	学習院③	42	46	88
	塩崎　成大	明治③	44	44	88
	中沢　大輔	中央学院③	43	45	88
	池田　輝之	成蹊③	47	41	48
36T	須長　啓樹	足利工業①	44	45	89
	吉田　謙	横浜国立①	44	45	89
	戸田　丈之	文教②	47	42	89
	府川　泰典	青山学院②	41	48	89
	大場　英幹	成蹊③	47	42	89
	佐藤晃太郎	東北学院①	44	45	89
	板尾　健次	明治③	40	49	89
	高成　俊範	明星③	45	44	89
	宇田川将司	明海②	46	43	89
	角田　昌浩	立教③	42	47	89
46T	荒川　善成	横浜商科①	43	47	90
	村田　智	東京経済①	45	45	90
	徳嵩　力一	國士舘②	48	42	90
	野口　宣文	上智②	46	44	90
	渡辺　浩行	早稲田③	44	46	90
	永澤　裕司	東京経済①	45	45	90
	酒巻　克博	中央学院③	44	46	90
	蒲田　昌樹	立教③	48	42	90
54T	磯貝　英明	拓殖②	46	45	91
	板倉　久	足利工業①	42	49	91
	島野　聡	帝京②	47	44	91
	岡澤　吉恭	文教③	49	42	91
	戸谷鉄太郎	中央③	46	45	91
	斉藤　敬重	桜美林②	46	45	91
	新井　正臣	中央学院③	43	48	91
	小田　努	中央①	44	47	91
	和多田　憲	学習院③	46	45	91
	戸部田康博	成城③	47	44	91
64T	斉藤　茂男	國士舘①	47	45	92
	和田　正道	新潟③	46	46	92
	永野　和也	千葉経済②	44	48	92
64T	山田　大輔	成城②	49	43	92
	篠原安希雄	早稲田①	44	48	92
	宮田　将史	成城③	46	46	92
	末次　進	帝京③	44	48	92
	北村　裕介	東北福祉①	48	44	92

順位	氏名	大学名	皐月	椿	TOTAL
72T	高林　厚	いわき明星②	50	43	93
	新堀　健一	横浜国立②	48	45	93
	和田　健	東洋②	44	49	93
75T	岡本　弘人	國學院②	49	45	94
	中川洋一郎	駒澤③	48	46	94
	澤井　研志	慶應義塾②	46	48	94
	高橋　竜太	慶應義塾③	48	46	94
79T	腰川　雅之	白鷗①	50	45	95
	川瀬　敦人	和光②	48	47	95
	藤森　康年	湘南工科③	42	53	95
	川口　崇	上智①	42	53	95
83T	津止　克明	獨協①	47	49	96
	寺田　幸司	千葉商科③	47	49	96
	渡辺　剛三	駿河台③	48	48	96
	浅見　悟	城西③	46	50	96
	竹田　陽一	筑波①	48	48	96
	大口　悟志	東京情報②	47	49	96
	加藤　晃市	神奈川③	50	46	96
	大久保智憲	中央③	46	50	96
91T	戸辺　基嗣	八千代国際②	51	46	97
	河村　直也	筑波①	47	50	97
	平田　将己	東京②	48	49	97
	吉岡　広樹	麗澤③	46	51	97
	山本　享	駒澤③	47	50	97
96T	鈴木　利英	いわき明星①	52	46	98
	熊谷　幸平	湘南工科③	46	52	98
	柴田　憲一	城西③	47	49	98
	奴田　智章	和光③	48	50	98
	高橋　知徳	早稲田②	48	50	98
101T	飯高　昇吾	湘南工科③	50	49	99
	松本　孝弘	創価③	53	46	99
	柳　勝利	東京情報①	49	50	99
	本田　琢磨	明星②	52	47	99
	沢田　貴夫	明治③	50	49	99
	林崎　恒哉	麗澤①	50	49	99
	堀江将一郎	青山学院②	50	49	99
	松野　信英	埼玉①	52	47	99
以下、リミットオーバー					
	森田　泰正	筑波③			
	松田　治	大東文化①			
	鍛代　達也	桜美林②			
	細谷　映之	武蔵工業③			
	宮永　龍典	獨協①			
	舘山　聡	東京情報①			
	田中慶一郎	玉川①			
	渡辺　大輔	千葉商科③			
	山岸　正憲	城西②			
	本郷　聡	獨協③			
	寺井　信吾	武蔵工業②			
	白井　秀典	神奈川②			
	十時　良明	駒澤③			
	勝矢　誠	東洋③			
	依田　昌宜	千葉商科③			
	石橋　俊雄	創価②			
	住谷　晋也	東北学院①			
	内山　洋一	和光③			
	渋川　武志	白鷗①			
	松本　俊介	東洋③			
	中山　崇	拓殖②			
	紺野　誠	東京都立①			
	柴田匡一郎	東北学院①			
	神谷　貴人	武蔵工業②			
	田村　雅明	創価②			
	佐藤　博行	成蹊③			
	赤坂　友則	足利工業①			
	佐田　肇	聖学院③			
	溝口　誠	青山学院②			
	吉川　友章	聖学院①			
	関口　芳範	大東文化①			
	松本　秀也	明星②			
棄権	井口　剛伸	國學院②			

result

平成７年度 関東学生ゴルフ連盟女子11月月例会

●主　　催　関東学生ゴルフ連盟
●期　　日　平成７年11月６日(月)
●使用コース　ノーザンカントリークラブ錦ケ原ゴルフ場
●競技方法　18Hs　ストロークプレー
●取得権利　競技の結果、７位以内(タイを含む)までの選手が11月に行われる会長杯出場の権利を獲得
●天　　候　晴

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	丸山　悦子	東京農業②	40	43	83
2 T	黒須　遊子	成蹊③	48	40	88
	杉若　玲子	青山学院①	45	43	88
4	高林みどり	東京農業②	48	42	90
5 T	守分三紀子	日本体育③	47	44	91
	高橋　麻里	学習院②	47	44	91
	小藪　美花	共立女子③	52	39	91
	大森　美恵	東洋③	45	46	91
	細矢　千穂	國學院③	44	47	91
	小川麻衣子	実践女子②	50	41	91
	藤井　美緒	学習院②	46	45	91
	大西　桂	玉川③	46	45	91
以上、上位12名、５位タイまでの選手が会長杯に出場。					
13T	志村　紀子	東京②	45	47	92
	小林　恵理	白百合女子③	44	48	92
15	橋本　絵美	成城③	46	47	93
16T	塚田　峰子	國學院③	44	50	94
	渡邉　友理	聖心女子②	45	49	94
	塚越　美紀	上智②	47	47	94
	前田　晶	慶應義塾①	47	47	94
	田島　良子	上智②	48	46	94
21T	大川　慶子	実践女子②	48	47	95
	山田亜希子	東洋英和女学院③	50	45	95
	豊田　有美	慶應義塾②	48	47	95
	土坂　有加	昭和女子③	48	47	95
	山崎　智紗	中央③	48	47	95
26T	金沢　雅代	白百合女子③	48	48	96
	古澤　麻子	東洋英和女学院③	47	49	96
28T	遠峰　哲子	駒澤③	51	46	97
	村山真祐子	駒澤②	50	47	97
	石川　志穂	帝京②	47	50	97
	石神　直子	玉川②	52	45	97
32T	榛木　みさ	聖心女子②	52	46	98
	寺井　由美	慶應義塾①	49	49	98
	中山　京子	立教③	51	47	98
35T	与那城舞子	東京女子体育①	52	47	99
	本澤　由紀	東京家政②	50	49	99
	福山貴美恵	学習院②	48	51	99
38T	松田　恵美	大東文化②	53	47	100
	小野　薫	早稲田①	54	46	100

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
	中津川晶子	実践女子②	50	50	100
	千賀安希子	フェリス女学院③	54	46	100
42T	鈴木さやか	日本体育③	56	46	102
	鈴木美樹子	成蹊②	48	54	102
44T	清田　律子	東京②	53	50	103
	高橋　明希	獨協①	49	54	103
	太田麻紀子	文教①	52	51	103
	原田　綾女	東洋②	54	49	103
	大場　路子	フェリス女学院②	54	49	103
49T	佐藤　孝子	共立女子①	51	53	104
	勝崎　順子	中央②	53	51	104
51T	中山　深雪	早稲田①	54	51	105
	森　英子	青山学院①	53	52	105
	森山　淑恵	玉川③	48	57	105
54T	的場　美樹	東京家政学院②	48	58	106
	新井美知子	東洋英和女学院②	49	57	106
	鈴木麻理子	明星②	57	49	106
	鈴木紗おり	大東文化②	51	56	107
	西沢　尚子	共立女子③	54	53	107
60	漆野亜紀子	聖心女子②	55	53	108
61T	津田　彩子	早稲田①	55	54	109
	橋本　久乃	國學院③	57	52	109
63T	森山　裕子	日本体育①	54	56	110
	鷲尾　愛	獨協①	56	54	110
	石川恵美子	関東学院③	62	48	110
66T	新島　純子	文教①	58	53	111
	森田カヨ子	フェリス女学院②	56	55	111
68T	瀧波早映子	成城②	52	60	112
	川島加津美	昭和女子②	55	57	112
以下、リミットオーバー					
	林　由佳	昭和女子②			
	大木　寛子	帝京③			
	又吉　レナ	東京家政学院②			
失格	横井佐妃子	成城①			
	梅田ハルミ	新潟①			
	池田　聖子	新潟①			
	高橋　素子	新潟②			
無断欠席	皆川　佳哉	麗澤①			
	清水　智江	麗澤③			

KSGA
KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION

平成８年３月20日発行 No.30

編集長　十時良明
編集　関東学生ゴルフ連盟広報局
発行　関東学生ゴルフ連盟

〒101 東京都千代田区三崎町２-22-18
TK-WESTビル２号館　６階
TEL.03-3263-4377 FAX.03-3263-4590

編　集　後　記

この編集後記、いったい何人の人に読んでいただいているのかちょっぴり不安ですが、とりあえず書き認めていこうと思います。

先日、２月の主将主務会議が行われた際に答えていただいたアンケートを集計してみました。この中の、KSGAに関する答えの中で一番目についたものは、予想通り「名前の誤字脱字が多い」ことでした。〝ごめんなさい〟。よって今回、プレーヤーの名前の誤字脱字の校正に、今まで以上に力を注いでみました。でき映えのほどはいかがだったでしょうか。今回、私がエントリー用紙を基にして校正しただけで、20箇所近い間違いがありました。今後、誤字脱字には細心の注意を払っていこうと思っておりますが、もし誤字脱字を見つけた際は、私宛に文句の電話なり、手紙なり投げつけてください。尚、この集計結果は、次号に掲載したいと思います。

ところで、もうすでにお気付きの方がいらっしゃるのではないかと思いますが、29号と30号とでは小さな違いがあります。それは敬称が「○○選手」となっていたのが「○○君」「○○さん」に変わったことです。「そんなのどっちでもいいぢゃねえか!!」と思ったあなた、流石ですね。私もそう思いました。しかし、新聞記者としての豊富な経験を持つ福島専務理事より「○○選手という表記は本来適当ではなく、学生なら○○君、○○さん、というのが適切である」とのご提言をいただき、新聞等を広げて見たところ、私の見た範囲では○○選手というのは見当たらない、納得。長年、「選手」と表記してきただけに少し違和感もありますが、こちらの方が正しいのですからこれからはずっと「君、さん」でいきたいと思います。

だらだらと書いてきましたが、誰かこの文章を読んでくれているのでしょうか。不安です…。

広報局長　十時　良明